



令和3年度 事業のあらまし

一般社団法人首都圏産業活性化協会
TAMA協会 Technology Advanced Metropolitan Area



令和3年度「事業のあらまし」発刊にあたり

一般社団法人首都圏産業活性化協会
会長 野長瀬 裕二

世界中がコロナに見舞われてからおよそ2年の歳月が流れました。各国経済は、変異株出現のたびに頻発する感染拡大に妨げられつつも、ばらつきを伴いながら相応の回復を続け、2021年の各国の実質経済成長率は、2020年時点の落ち込みの相当部分を取り戻したようですが、足元では、グローバルサプライチェーンの影響に伴う部品および原材料の不足・価格の高騰、また一方では、ウクライナ情勢を巡る地政学リスクも経済活動に深刻な影響を及ぼしております。このような時だからこそ当協会は、関係機関と連携して、会員企業のみなさまを全力でご支援して参ります。

さて当協会は、産業クラスター形成の推進組織として1998年（平成10年）に協議会設立以来、おかげさまで24年の歴史を刻んでおります。これもひとえに、支えて下さった多くの皆様のご支援とご尽力により成し得たものであり、深く感謝申し上げます。

令和3年度は、当協会第六期3ヵ年計画（2021年～2023年）の初年度として「脱平均！ワンランクアップ」をビジョンに掲げ、協会の目的である“製品開発力の強化”“市場の拡大”“新規創業環境の整備”を促進すべく、産学官金民のネットワーク形成を基本スタンスとし、圏央道と交差する関越・中央・東名道の3つの重点地域の振興と、新たな分野の切り口によるイノベーションの創出に向けて、取り組みをはじめました。

また、第五期に立ち上げた「自治体地域産業政策勉強会」「金融機関勉強会」を定期的に関催するなど、第六期の中期ビジョンの実現に向けて地域連携推進活動における基盤づくりにも一層注力しております。

経済活動の停滞により、イノベーション活動にも影響が及んでおりますが、当協会では「楽しく、明るく、プロフェッショナルに」をモットーに、

「地域企業を最もよく知る」×「地域自治体を最もよく知る」×「地域大学を最もよく知る」

を“OUR CORE”と定め、地域に根差した産学官連携のプロフェッショナル集団としての自覚を忘れず、ビジネス機会創造に力を注いで参ります。

今後とも、より一層のお力添えを、どうかよろしくお願い申し上げます。

令和4年吉日

一般社団法人首都圏産業活性化協会
会長 野長瀬 裕二

目次

1	■ 沿革
2	■ 第六期中期計画（2021年～2013年）
3	■ イノベーション創出支援
3	産産連携・産学連携コーディネート
6	交流会の開催
9	展示会マッチング促進支援
10	科学技術振興機構と連携した産学連携支援
11	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業
12	地域イノベーション戦略推進事業（首都圏西部スマートQOL技術開発地域）
14	連携促進の取組（異能vationプログラムネットワーク拠点、J-GoodTechヒアリング調査）
15	■ 企業支援
15	知的財産活動支援事業（経営デザインシート）
19	ジャッキー柴田のマーケティング講座
20	個別支援事例（中小企業へのIoT支援事業）
21	■ 政策推進
21	研究開発支援事業（競争的資金獲得支援）
24	補助金・助成金説明会、個別相談会の開催
26	■ 人材育成支援
26	技術経営大学
32	次世代トップリーダー育成講座
33	■ 他機関との連携
33	NPO法人北関東産官学研究会（HiKaLo）との連携協定
35	■ 情報ネットワーク事業
36	■ TAMAコーディネータ制度
37	■ 地域連携推進
37	自治体地域産業政策勉強会
37	自治体との連携
38	金融機関勉強会
38	国内支援機関等との交流
39	■ データでみるTAMAの推移と現状
41	■ 年表

第一期 1998年（平成10年）～2002年（平成14年）

ネットワーク形成 インフラの整備を通じた産学官金ネットワークの構築

1998年（平成10年）設立

4月 関東経済産業局の協力を得て、地域の企業、大学、自治体、商工団体により、任意団体「TAMA産業活性化協議会」が設立。
当初の事務所は、八王子商工会議所の一角を借用してのスタートであった。

2000年（平成12年）事務所移転

事務所を三鷹産業プラザへ移転。

2001年（平成13年）社団法人化、事務所移転

4月 TAMA産業活性化協議会解散。経済産業省の許可を受け、社団法人首都圏産業活性化協会を設立。
事務所を八王子スクエアビルへ移転。

2002年（平成14年）コーディネーター制度やネットワークによるプラットフォームを構築



第二期 2003年（平成15年）～2007年（平成19年）

研究開発・新事業創出

産学・産産連携の促進と連携による新技術・新製品の開発新事業の創出

2003年（平成15年）ベンチャー基金設立

2004年・2005年（平成16年・17年）海外クラスターとの交流開始

2006年（平成18年）次世代経営者育成・若者ネットワークを構築

2007年（平成19年）大手企業と中小企業の技術連携交流会開始

第三期 2008年（平成20年）～2012年（平成24年）

環境ものづくり 環境と調和し環境と共生する

「ものづくりクラスター」として世界ブランド化をめざす

2008年（平成20年）設立10周年、環境ものづくり支援事業・産学官金サミット開始

2009年（平成21年）環境ものづくり大賞創設・海外展開支援の強化

2010年（平成22年）一般社団法人化、首都圏西部地域広域基本計画策定

1都2県35市4町1村による広域協議会を設置し、地域での産業集積活性化を支援。

2011年（平成23年）地域イノベーション戦略推進地域に選定

「首都圏西部SQOL(Smart Quality of Life)技術開発地域」として選定される。

第四期 2013年（平成25年）～2017年（平成29年）

TAMAエコクラスター 環境配慮ものづくりエコクラスター（環境調和・ビジネス調和）の実現をめざす

2013年（平成25年）TAMAブランド化推進事業、TAMAブランド企業認定開始

2015年（平成27年）人材確保・定着事業強化、中核企業創出支援事業の推進

2017年（平成29年）先端ものづくり・IoT普及による中核企業創出支援

第五期 2018年（平成30年）～2020年（令和2年）

コネクテッド・インダストリーズ

産学官金で、ひと・もの・ことつながりを推進しビジネス機会と人材が集まる場を形成する

2018年（平成30年）設立20周年、異業種交流会(つなぐWaセッション)開始

知的財産人材育成支援事業開始、自治体政策勉強会の開始

2019年（平成31・令和元年）技術経営大学(合同新入社員研修、専門講座)の開始

(独)中小企業基盤整備機構、(地独)神奈川県立産業技術総合研究所との連携協定を締結

ビジネスマッチングWEBサイト「ジエグテック」内に特設ページ開設、技術連携交流会@KISTECの開催

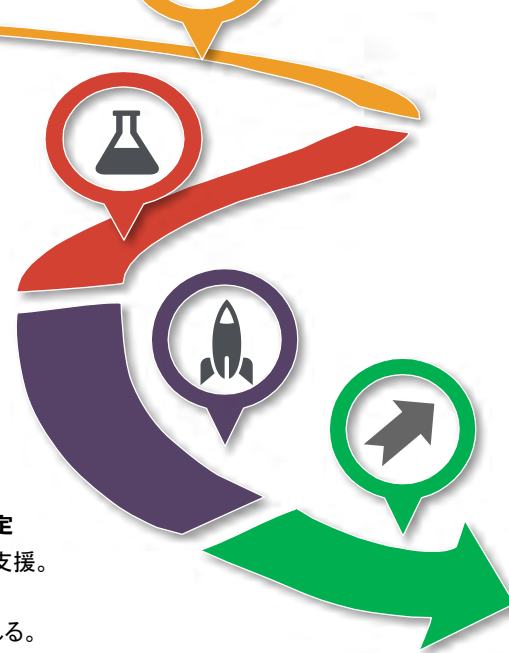
2020年（令和2年）次世代トップリーダー育成講座の開始、金融機関勉強会の開始

第六期 2021年（令和3年）～2023年（令和5年）

脱平均！ワンランクアップ

3つのエリア(圏央道と交差する関越・中央・東名道)と新たな分野の切り口により、イノベーションの創出をはかる

2021年（令和3年）北関東産官学研究会(HiKaLo)と連携協定を締結

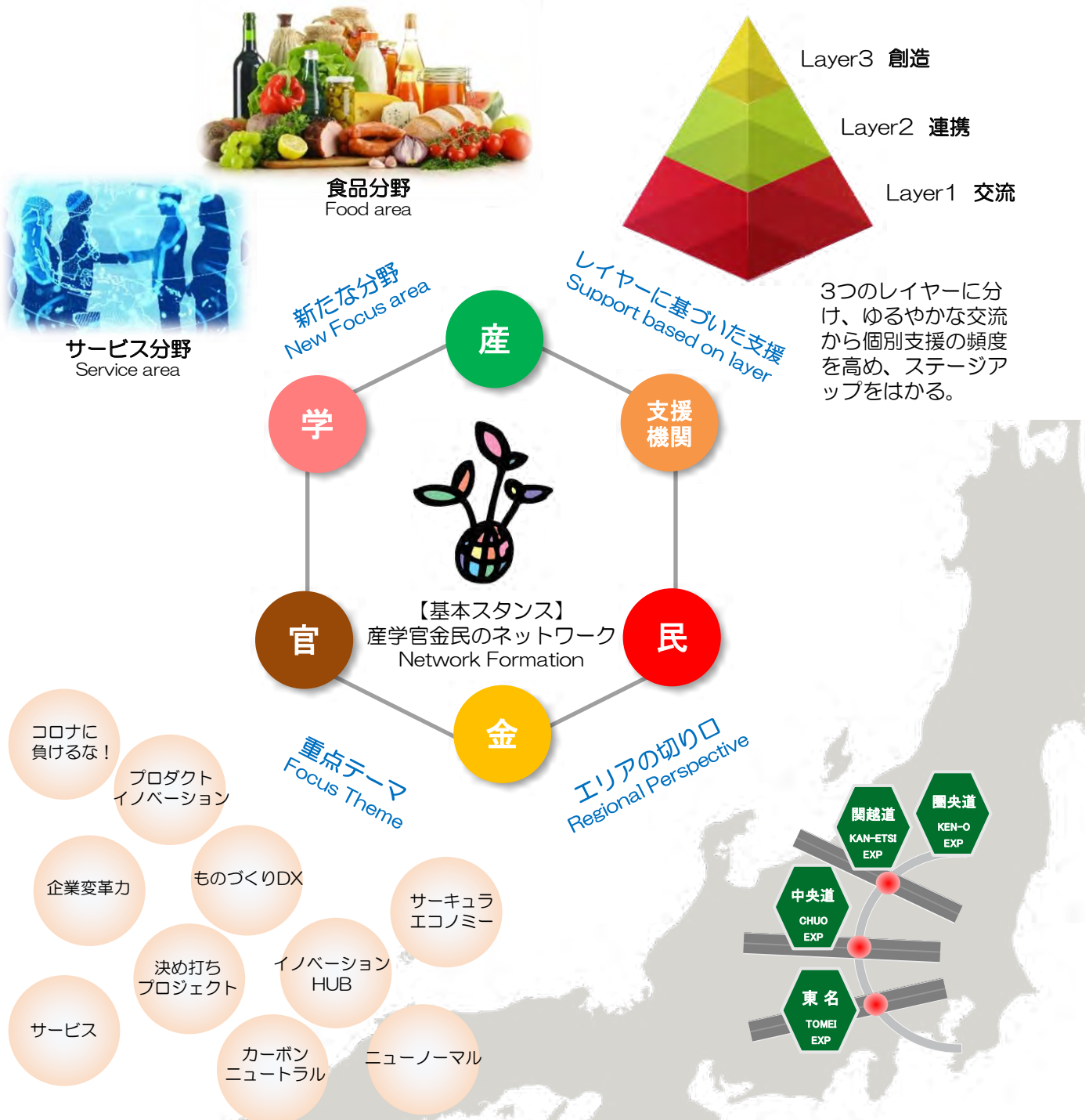


第六期中期計画（2021年～2023年）

脱平均！ワンランクアップ

第六期（2021年～2023年）は、「脱平均！ワンランクアップ」というビジョンを掲げ、協会の目的である“製品開発力の強化”“市場の拡大”“新規創業環境の整備”を促進して参ります。

産学官金民のネットワーク形成を基本スタンスとし、3つのエリア（圏央道と交差する関越・中央・東名道）と新たな分野の切り口により、イノベーションの創出をはかって参ります。



産産連携・産学連携コーディネート

I 産産連携・産学連携のマッチング基盤

(1) 「つなぐWa新春特別号」「ワザ自慢」・「大学技術工房」

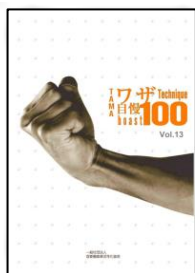
昨年度に引き続き、協会会員の皆様同士の連携促進を目的として、会員の皆様を1冊でご紹介した「つなぐWa新春特別号」を令和4年1月に発行しました。また平成19年度から作成している全国中小企業の技術シーズ集「ワザ自慢Vol.1～Vol.13」、平成23年度から作成してきた大学研究者の技術シーズ集「大学技術工房Vol.1～Vol.8」をホームページに掲載し、マッチングを促進しています。これらは随時、新規追加やブラッシュアップを行い、産産連携・産学連携のマッチング活動の基盤としています。



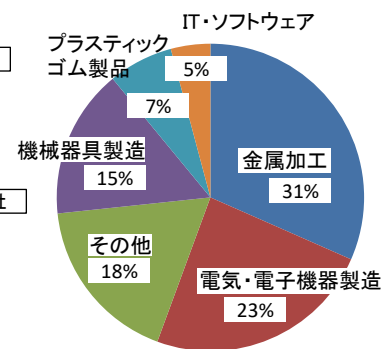
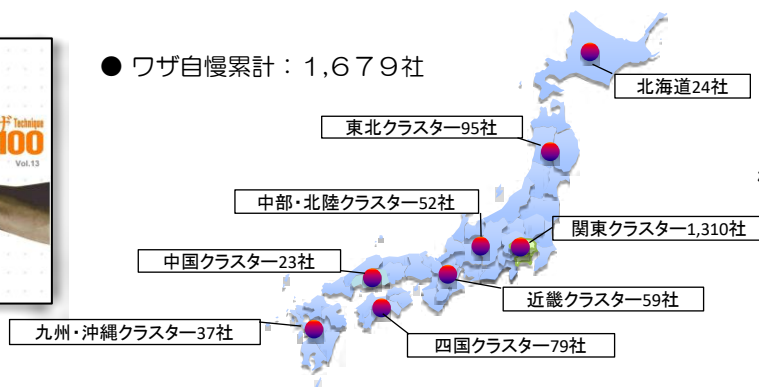
● PRレポート掲載社数 : 会員企業176社

ご協賛頂いた皆様、心より御礼申し上げます。

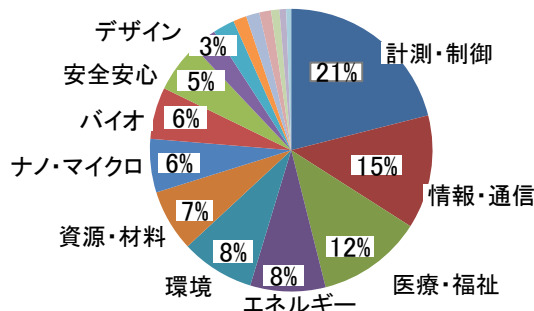
株式会社イノウエ	株式会社リガルジョイント
株式会社industria	日光化成株式会社
株式会社ミラック光学	株式会社イチカワ
株式会社エリオニクス	株式会社菊池製作所
京西テクノス株式会社	株式会社バンガードシステムズ
武州工業株式会社	株式会社レスカ
アイフォーコム株式会社	久保井塗装株式会社
株式会社コスモ計器	税理士法人りんく
DATAビジネス株式会社	日本分析工業株式会社
アイオワ州経済開発機構	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
独立行政法人中小企業基盤整備機構	東京中小企業投資育成株式会社
西武信用金庫	多摩信用金庫
社会保険労務士法人阿部事務所	株式会社さがみはら産業創造センター
公益財団法人東京都中小企業振興公社 多摩支社	青梅信用金庫
株式会社商工組合中央金庫 八王子支店	野村證券株式会社 立川支社
飯能信用金庫	



● ワザ自慢累計：1,679社



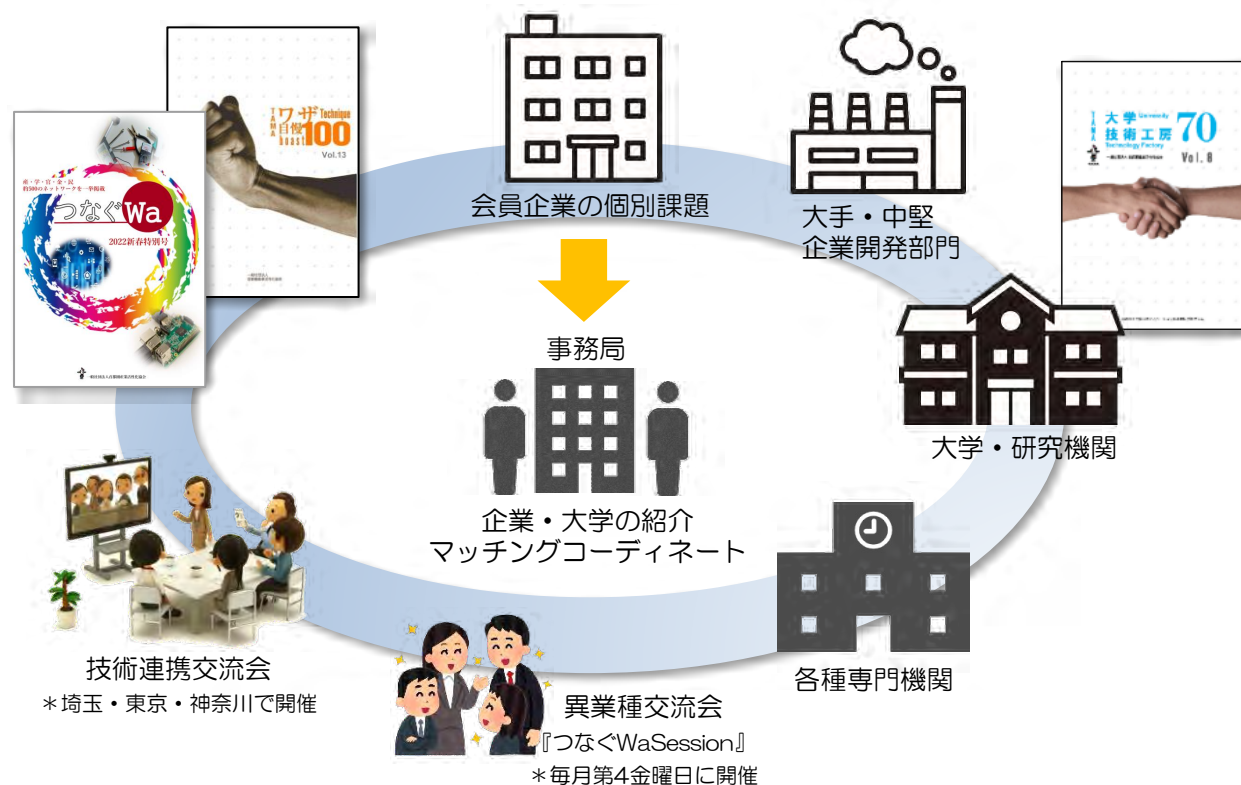
● 大学技術工房累計：754件



- ライフイノベーション : 332件 (44%)
- グリーンイノベーション : 166件 (22%)
- 基盤技術分野 : 256件 (34%)

II 産産連携・産学連携の活動スキームと実績

当協会では企業・大学の事業拡大・新事業・新技術・新製品などの創出につながる連携実現を目指してマッチングを行ないました。参加企業・大学のご要望に柔軟に対応すべく、オープン/クローズド、対面形式/非対面形式のマッチングを行いました。



マッチング
プラットフォーム
パートナー機関

J-GoodTech
ジェグテック
オープンイノベーションマッチングス
クエア (OIMS)
※中小企業基盤整備機構と連携協定

TechMesse
Tech Messe (テックメッセ)
運営企業：リンカース株式会社
※協会会員企業

catalyst
NOMURA Open Innovation Platform
Catalyst (カタリスト)
運営企業：野村證券株式会社
※協会会員企業

Topic

中小機構「J-Good Tech」との連携

会員企業をはじめとした「ワザ自慢」掲載企業がより多くのマッチング機会に触れられるよう、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営するビジネスマッチングプラットフォーム「J-Good Tech」と連携しています。また、協会コーディネーターがジェグテックマイスターを取得し、円滑なマッチングを進められるようサポートしていきます。(<https://jgoodtech.smri.go.jp>)

【令和3年度会員企業の活用状況】

登録企業数： 173社
法人情報閲覧数： 23,477件
問い合わせ受信件数： 633件
ニーズ提案数： 192件



Ⅲ 技術連携交流会の開催実績

(1) 技術連携交流会@KISTEC&KIP

昨年度に引き続き、県内の産業界に精通している（地独）神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）および（公財）神奈川県産業振興センター（KIP）と協力し、より活発なビジネスマッチング会を開催いたしました。今回はマッチング会だけでなく、企業プレゼンや支援機関の活用をテーマとしたパネルディスカッションも同時開催しました。



- ・開催日： 令和4年 1月 20日（木） 13:00～17:00
- ・形式： ZOOMを利用したオンライン形式
- ・内容： 第1部「3機関合同によるオープンセミナー&パネルディスカッション」
【登壇企業】(株)菊池製作所、(株)日本マシンサービス、(株)MEMOテクノス
第2部「技術連携交流会」（大手企業とのマッチング会）
- ・参加社数： 16社
- ・面談数： 12面談

(2) 技術連携交流会@さいたま新都心イブニングサロン

本サロンは地域貢献意欲のあるボランティアな個人主導のもと、技術にプライドを持つ企業家・大学教授にプレゼンを行う事で、そのプレゼンを聴いた意欲的企業家達との「商談」をマッチングすることを目指しています。昨年度に引き続き、今年度もYoutubeを使ったオンライン形式にて開催し、Webを利用したマッチングを行ないました。（過去に開催した様子 → <https://www.tamaweb.or.jp/archives/5239>）

- ・主催： 特定非営利活動法人 新都心イノベーションパートナーズ
（企画・運営・動画制作 （一社）首都圏産業活性化協会）



- ・面談数： 14面談
- ・内容：

第63回 令和3年 7月 16日



- ・はむらイブニングサロン 「はむらイブニングサロンからの企業紹介」
- ・株式会社ジー・キューブ 「半導体製造設備産業を基盤に新事業領域へ展開」
- ・株式会社産学連携研究所 「産学連携ビジネスの新展開」
- ・株式会社山本金属製作所 「機械加工現場のイノベーションに挑戦！」

第64回 令和3年 11月 5日



- ・野長瀬裕二代表世話人 「北関東産官学研究会と首都圏産業活性化協会の業務提携」
- ・共和産業株式会社 「当社の試作事業、医療機器事業とグローバル戦略」
- ・株式会社スキプレシオン 「医療機器事業参入により下請けから自立企業を目指す」
- ・株式会社アドテックス 「制御技術により医療機器、半導体製造装置へ事業展開」

第65回 令和4年 2月 4日



- ・もがみイブニングサロン 「もがみイブニングサロンからの企業紹介」
- ・多摩冶金株式会社 「熱処理技術と新分野進出」
- ・三福工業株式会社 「樹脂加工技術とニッチトップ戦略」
- ・日光化成株式会社 「当社のコア技術とオープンイノベーション」

(3) 技術連携交流会@八王子

- ・開催日： 令和3年 11月 17日（木） 13:00～17:00
- ・形式： Zoomを利用したオンライン形式
- ・参加社数： 6社
- ・面談数： 5面談



(4) リアルタイム交流会

企業が探している技術をキャッチし、マッチする中小企業をリアルタイムに紹介するため、連携確度が高い交流会です。

面談件数 82面談

交流会の開催

I つなぐWaSession Online Meeting

つなぐWa Session

会員が定期的集まることで仲間を増やし相互研鑽できるような場となり、協会活動への積極的な参加や期待を高めることを目的として、基本的に毎月1回（主に第4金曜日16:00～）定期的開催しました。

企業経営や地域経済、時事問題等に関するテーマを設定し、企業、大学関係者、支援機関、行政関係者、コーディネーター等にスピーチして頂き、参加者同士での情報共有や意見交換などを通じた「交流の場」として開催しました。

今年度はコロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン開催にて実施しました。

後援：株式会社さがみはら産業創造センター、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所

開催回	開催日	テーマ	プレゼンター	参加数
第18回	令和3年 4月23日（金）	ITを活用した経営戦略	1) (株)星製作所 代表取締役 星 肇 氏 2) (株)アドヴァンテージ 代表取締役社長 中野 尚範 氏 3) リアムス(株) 代表取締役 片貝 和人 氏	25人
第19回	令和3年 5月21日（金）	日本経済を支える中小企業と事業承継	1) (株)小沢製作所 代表取締役 小沢 昌治 氏 2) (株)鬼塚硝子 代表取締役社長 鬼塚 睦子 氏 3) 関東経済産業局 地域経済部 地域振興課 氏	30人
第20回	令和3年 7月16日（金）	DX推進で付加価値と生産性を向上する	1) DATAビジネス(株) 取締役 嶋田 圭吾 氏 2) 月井精密(株) 代表取締役 名取 磨一 氏 3) (株)東京IT経営センター 代表取締役 田中 渉 氏	27人
第21回	令和3年 8月27日（金）	直近の世の中のリスクとBCP	1) 東京海上日動火災保険(株)八王子支社 支社長代理 東 和哉 氏 西東京支社立川支社 副主任 竹内小百合 氏 2) 関東経済産業局 産業部 中小企業課 川田 瑞穂 氏	22人
第22回	令和3年 10月22日（金）	知らなかったでは済まされない！ITに関するビジネスリスクと対処法	1) 弁護士法人高瀬法律相談事務所 高瀬 芳明 氏 2) リアムス(株) 代表取締役 片貝 和人 氏	25人
第23回	令和3年 11月26日（金）	研究開発プロジェクトを有利に進める外部資金の獲得	1) (独)中小企業基盤整備機構関東本部 チーフアドバイザー 佐々木 浩子 氏 2) (株)常光 札幌研究開発室 課長 兼 医療機器・診断薬事業本部 営業サービス部 学術マーケティング課 課長 薬袋 博信 氏 3) (株)ハイメックス 代表取締役 中島 俊英 氏	27人
第24回	令和3年 12月14日（火）	世界に誇れるベンチャーの輩出を！	1) (株)日本クラウドキャピタル 営業部 パートナー・副部長 落合 文也 氏	34人
第25回	令和4年 1月21日（金）	技能人材を育てる環境づくり	1) 多摩冶金(株) 代表取締役社長 山田 毅 氏 2) 新協電子(株) 代表取締役社長 中西 英樹 氏 3) 武州工業(株) 代表取締役会長 林 英夫 氏	26人
第26回	令和4年 2月9日（火）	バレンタインデー直前企画！チョコレートから学ぶ「SDGsとフェアトレード」	1) 認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン シニアディレクター 中島 佳織 氏 2) 国分グループ本社(株) マーケティング・商品統括部 商品開発部 開発一課 青木 杏里 氏	37人
第27回	令和4年 2月25日（金）	海外ビジネス・外国為替	1) 中央大学 経済学部 准教授 吉見 太洋 様 2) M3Group 澤田 雅弘 氏 3) M3Group 張本 昭良 氏	22人
第28回	令和4年 3月25日（金）	企業の成長につながる人材育成	1) (一財)海外産業人材育成協会（AOTS） 企業連携部 櫻井 章二 氏 2) 日総工産(株) 新事業開発室 室長 中村 元 氏	26人

II 新都心イブニングサロン

技術にプライドを持つ企業家・大学教員にプレゼンを行っていただき、そのプレゼンを聞いた意欲的企業家達との「商談」をマッチングすることを目指しています。プレゼンする人も聴く側も“Japan-tech Pride”を理解し、参加者が力を合わせて場の価値を高めていくことをコンセプトとしています。

コロナ禍においてオンライン開催となり、Web特設会場の設置、オンデマンド配信様動画撮影及び編集、配信環境の提供など実施しました。

※2022/3 現在

開催回	開催日	プレゼンター	視聴数
第63回	令和3年 7月16日 (金)	1) はむらイブニングサロン 羽村市 産業環境部 産業企画課 産業企画係 葛西 志耕 氏 「はむらイブニングサロンからの企業紹介」 2) 株式会社シー・キューブ 代表取締役社長 西村 賢治 氏 「半導体製造設備産業を基盤に新事業領域へ展開」 3) 株式会社産学連携研究所 代表取締役 隅田 剣生 氏 「産学連携ビジネスの新展開」 4) 株式会社山本金属製作所 代表取締役社長 山本 憲吾 氏 「機械加工現場のイノベーションに挑戦！」	339回
第64回	令和3年 11月5日 (金)	1) 一般社団法人首都圏産業活性化協会 会長 野長瀬 裕二 「北関東産官学研究会と首都圏産業活性化協会の業務提携」 2) 共和産業株式会社 代表取締役社長 鈴木 宏子 氏 「当社の試作事業、医療機器事業とグローバル戦略」 3) 株式会社スズキプレシオン 取締役会長 鈴木 庸介 氏 「医療機器事業参入により下請けから自立企業を目指す」 4) 株式会社アドテックス 代表取締役社長 佐藤 弘男 氏 「制御技術により医療機器、半導体製造装置へ事業展開」	219回
第65回	令和4年 2月4日 (金)	1) もがみイブニングサロン 代表世話人 高橋 政幸 氏 「もがみイブニングサロンからの企業紹介」 2) 多摩冶金株式会社 取締役副社長 山田 真輔 氏 「熱処理技術と新分野進出」 3) 三福工業株式会社 代表取締役社長 三井 福太郎 氏 「樹脂加工技術とニッチトップ戦略」 4) 日光化成株式会社 代表取締役社長 利倉 一彰 氏 「当社のコア技術とオープンイノベーション」	102回

Ⅲ はむらイブニングサロン

羽村市がHUBとなり、技術にプライドを持つ企業家・大学教員がプレゼンを行うことによって、意欲的な企業家達とのマッチングを目指した異業種交流会「はむらイブニングサロン」を実施しました。

昨年度に引き続き、本年度も新型コロナウイルスの影響を鑑み、ZOOMを使ったオンライン形式にて開催しました。各回、活発な意見交換を通して、地域を超えた連携が数々生まれました。

主 催： 羽村市

企画運営： 一般社団法人首都圏産業活性化協会

企業と大学と地域のネットワーク異業種交流会

はむらイブニングサロン

開催回	開催日	テーマ	プレゼンター	参加
第23回	令和3年 5月13日 (木)	「既存技術を利用した感染症 対応の新製品開発事例」	1) 株式会社 MEMO テクノス 代表取締役 渡邊 将文 氏 2) 株式会社コスモテック 代表取締役社長 高見澤 友伸 氏	28人
第24回	令和3年 7月8日 (木)	「企業価値を高める ESG の取 組」	1) 株式会社システムブレイン 代表取締役社長 神田 智一 氏 2) 武陽ガス株式会社 小売部門長 兼 営業開発部長 半田 喜一 氏	42人
第25回	令和3年 9月9日 (木)	「“幸せな会社”を目指す組 織風土づくり」	1) 株式会社シフト 人財開発事業部リーダー 株式会社加藤経営 代表取締役 加藤 芳久 氏 2) アイキャンディ株式会社 代表取締役 福森 加苗 氏	38人
第26回	令和3年 11月11日 (木)	「羽村市制 30 周年記念～30 年後の未来社会に向けて～」	1) 摂南大学 経済学部 教授 野長瀬 裕二 氏 2) 株式会社イチカワ 専務取締役 市川 敦士 氏	42人
第27回	令和4年 2月21日 (月)	成長発展のヒント「企業支援 施策と活用事例」	1) 経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 地域振興課 三木 創介 氏 地域経済部 産業技術革新課 中村 遼太 氏 2) 日光化成株式会社 代表取締役社長 利倉 一彰 氏	40人
第28回	令和4年 3月16日 (水)	「経営デザインシートと新市 場の事業構想」	1) 一般社団法人首都圏産業活性化協会 事務局長 芳賀 啓一 2) M3 Group 澤田 雅弘 氏	23人

展示会マッチング促進支援

I 新ものづくり・サービス展

全国中小企業団体中央会が主催する「中小企業 新ものづくり・新サービス展」の現地対応事務局業務を株式会社リンカーズより受託し対応しました。

*本展示会は「ものづくり補助事業」の活用で開発した新製品・サービス・技術等、全国の中小企業が挑戦を繰り返し、工夫を凝らした様々な分野の成果が一堂に会する展示商談会です。

1. 展示会開催概要



会場風景

- ・開催日：令和3年12月8日（水）～12月10日（金）
- ・会場：東京ビッグサイト 東7ホール
- ・主催者：全国中小企業団体中央会
- ・出展者数：550社 Web出展：350社

2. 担当業務

- ・出展企業巡回フォロー業務
ブース出展者の商談促進に資することを目的に出展者ブースへの巡回し、状況確認とフォローを実施。コーディネーター1名あたり20件～30件/日に対応しました。
- ・マッチング相談（よろず相談）窓口業務
マッチング相談コーナーにおいて、専門コーディネーターがよろず相談事に対応する業務。来場者および出展者のニーズをヒアリングし、合致する出展者、販路拡大、協業・技術連携先などの紹介を実施。必要に応じ該当ブースまでご案内を行ないました。
- ・バイヤー向け出展企業提案業務
バイヤー企業のマッチングニーズに対して、適切な出展企業を抽出し提案。バイヤー企業がニーズに合致する出展企業だと判断した場合、出展企業ブースに直接伺うよう促しました。



よろず相談窓口風景

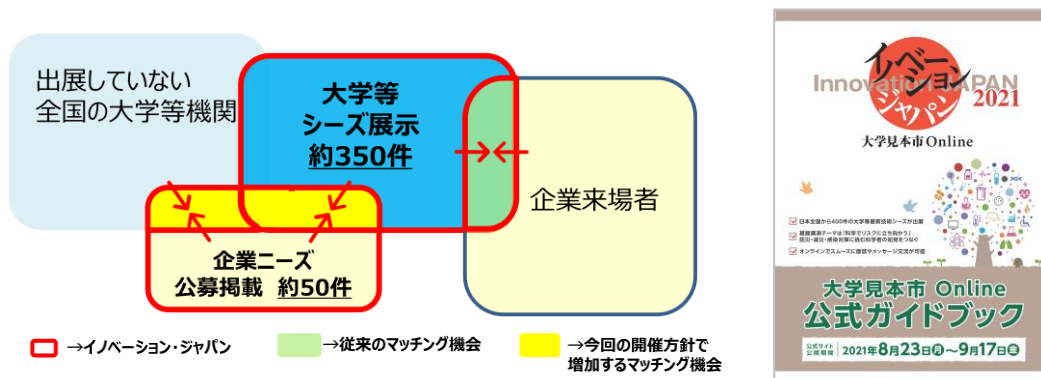
科学技術振興機構と連携した産学連携支援

I 『イノベーション・ジャパン2021～大学見本市Online』に参加

国立研究開発法人科学技術振興機構主催の『イノベーション・ジャパン2021～大学見本市Online』とは、全国の大学等の技術シーズを一堂に集め、企業へ紹介し産学連携の推進、技術移転のきっかけとなる場を提供することにより、産業活動の活性化を目指す産学連携マッチングイベントです。従来は、展示場で開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を考慮し、オンラインにて開催しました。

今年度は、産学双方向マッチングシステムに弊協会企業および推薦企業が参加いたしました。

- ・開催期間：令和3年8月23日～9月17日
- ・主催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
- ・閲覧対象者：企業等の研究開発担当者、経営者、大学関係者など
- ・サイト内容【大学見本市online】
 - ▶ 大学等シーズ展示約350件
 - ▶ 基調講演
 - ▶ 出展研究者ピッチプレゼン配信
 - ▶ 産学オンライン双方向マッチングシステム（法人等ニーズ掲載約50件）
- ・弊協会参加企業：壺坂電機(株)、(株)ハイメックス、コニカミノルタ(株)、田村駒(株)



II 『イノベーション・ジャパン～大学見本市』出展者ヒアリング調査

JSTが実施した『イノベーション・ジャパン～大学見本市過去出展者アンケート』において、出展から現在にいたる産学連携の実績があった大学等シーズ展示の出展研究者に対し、マッチング後の成果や展開を具体的に把握することを目的として、JSTから委託を受け、ヒアリング調査を実施しました。

今回は、平成29年～令和2年の過去4年間に展示した研究者の進展状況の状況調査を行いました。



- 時期：令和3年12月16日（木）～令和4年3月15日（火）
- 対象：過去4年間の「イノベーション・ジャパン～大学見本市」に出展した全国の研究者
- 件数：1,590件（うち5名の研究者にヒアリング調査を実施）

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業（牽引型）

女性研究者のライフイベントおよびワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や研究力向上のための取組及び上位職への積極登用に向けた取組を支援するため、文部科学省・JSTの「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業」を行いました。

1. プロジェクト概要

「女性研究者の活躍推進を実現する”関東プラットフォーム”の創生と全国展開」をテーマに事業を実施しました。

共同実施機関：東京農工大学、一般社団法人首都圏産業活性化協会
東京外国語大学、国際農林水産業研究センター



2. 取組内容『ダイバーシティ研究環境整備』

女性研究者の研究成果をPRレポートにまとめた内容を、当協会 ホームページ、独立行政法人中小企業基盤整備機構の運営するビジネスマッチングサイト「J-GoodTech」へ掲載し、Web展示会でのポスター展示など周知活動等を実施しました。

(1) スマートファクトリーJapan2021での告知

東京ビッグサイトにて開催された展示会にて「女性研究者の活躍支援」に関するポスターの展示を行いダイバーシティ事業のPRを実施。

主催：日刊工業新聞社

後援：内閣府、総務省、経済産業省、日本貿易振興機構(ジェトロ)
(令和3年12月1日～ 令和3年12月3日)



(2) TDU産学交流会での告知

事業紹介のプレゼンテーション、シンポジウムのチラシ配布等実施。

主催：埼玉県産業人クラブ、TDU産学交流会、日刊工業新聞社

共催：飯能信用金庫

(令和3年12月3日)

(3) 平成28年度文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

第6回総括シンポジウム参加

テーマ：ダイバーシティ推進に挑む組織の挑戦と戦略
～女性リーダーが活躍する組織の実現に向けて～

開会挨拶（各機関長からの挨拶）において当協会からは野長瀬会長が挨拶し、ダイバーシティに関する取組み・事業報告は芳賀事務局長より行いました。

(令和3年12月24日)



地域イノベーション戦略推進事業

文部科学省、経済産業省、農林水産省及び総務省は、平成23年度から、地域イノベーションの創出に向けた主体的かつ優れた構想を持つ地域に対し、関係省庁の施策を有機的に組み合わせて総合的・集中的に支援するため「地域イノベーション戦略推進地域」として共同で選定しました。

この取り組みは、「産学官金の参画機関が連携して、地域の強みや特性を活かした取り組みを通じて、持続的・発展的にイノベーションを創出する仕組みの構築を図ることで、地域イノベーションシステムの構築や活力ある地域づくり、ひいては我が国の科学技術の高度化・多様化や我が国の産業競争力強化につなげる」ことを目指しています。

1. 事業の概要

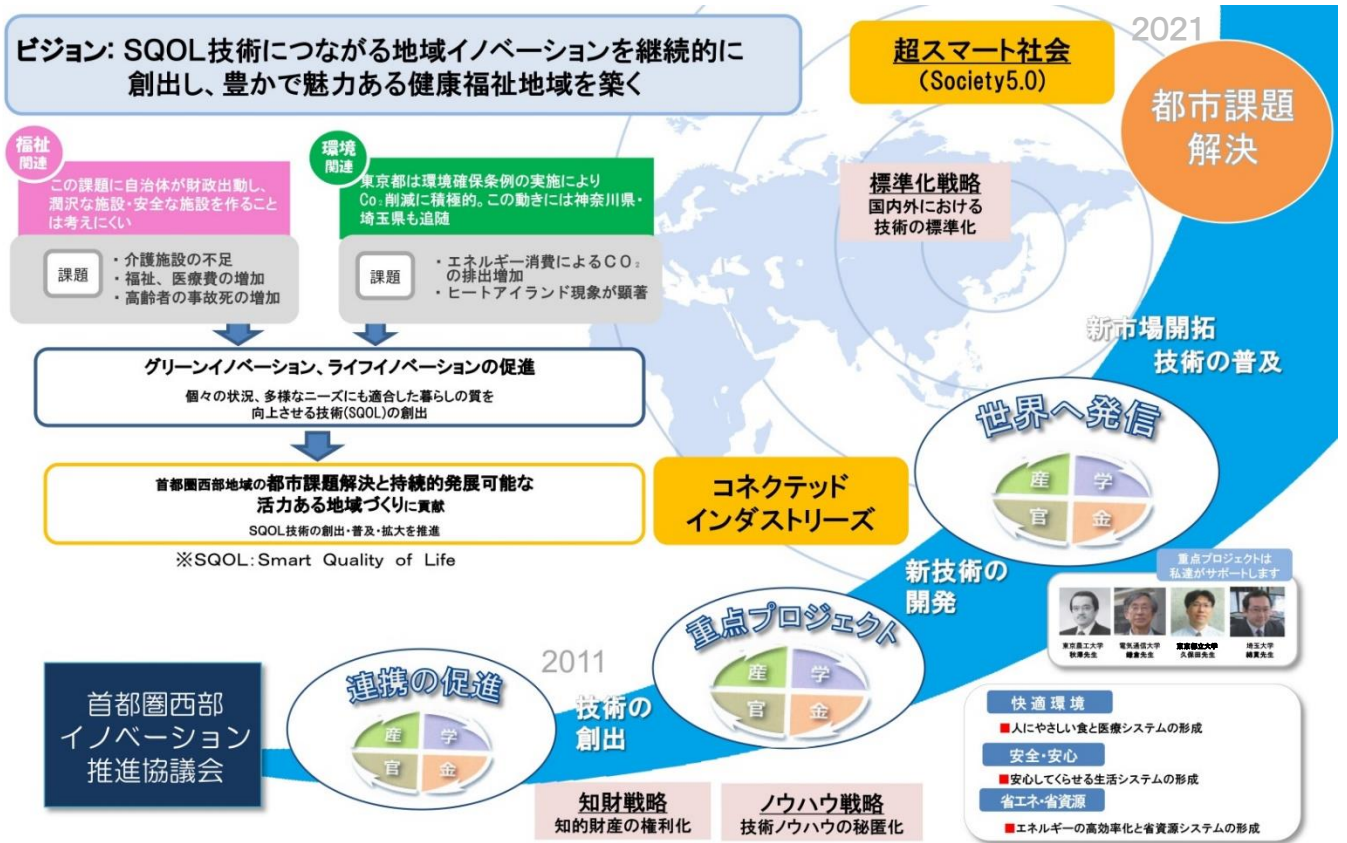
地域イノベーション戦略推進地域(文部科学省・経済産業省・農林水産省・総務省)及び地域イノベーション戦略支援プログラムの推進(文部科学省)

首都圏西部地域においては、産学官金連携拠点形成事業の中核機関である東京都立大学・電気通信大学・東京農工大学・埼玉大学・青山学院大学・芝浦工業大学・東洋大学・東京都・埼玉県・さいたま市・相模原市・西武信用金庫・東京都立産業技術研究センター・当協会の14機関で、首都圏西部イノベーション推進協議会を組成して、首都圏西部地域イノベーション戦略を策定しました。

この戦略を実現するため、本地域は「首都圏西部SQOL (Smart Quality Of Life) 技術開発地域」として地域イノベーション戦略推進地域/研究機能・産業集積高度化地域に選定されました。

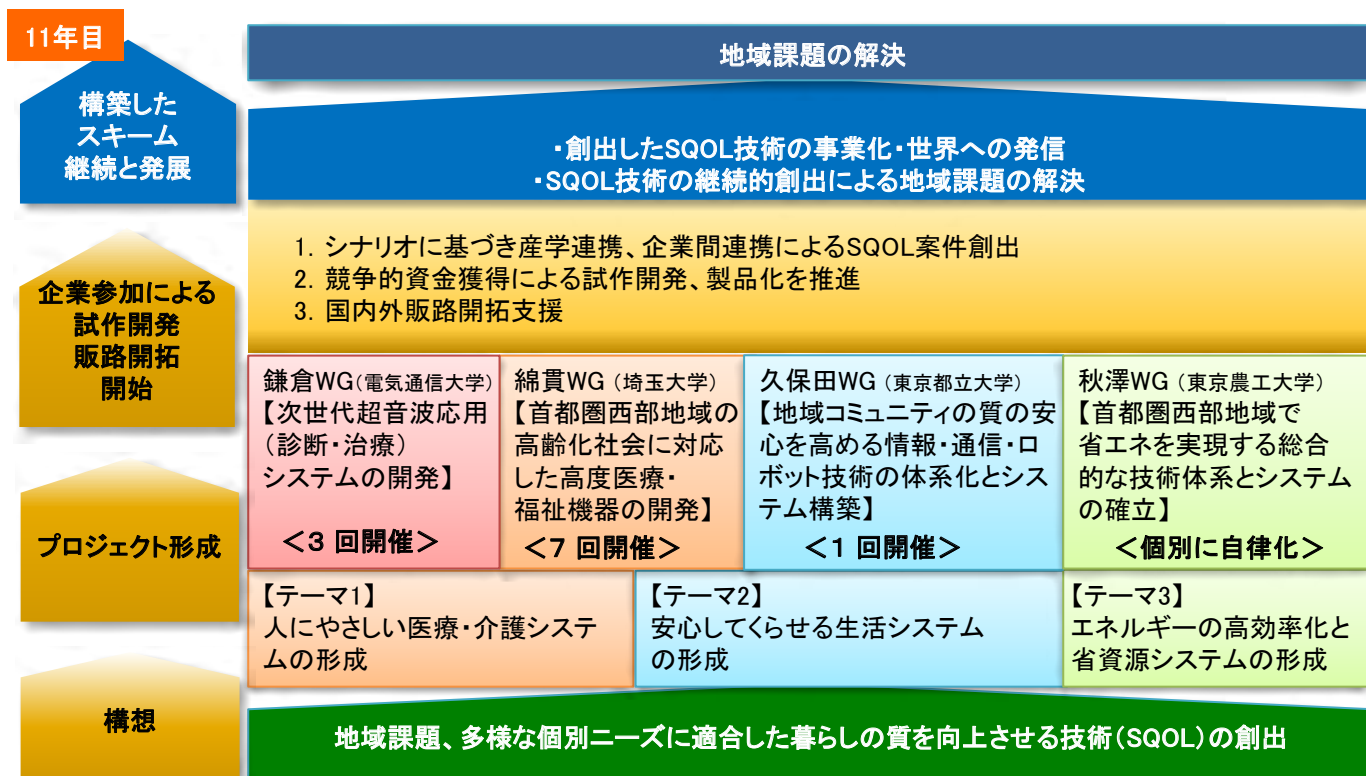
本地域では高齢化社会を踏まえた「SQOL技術」を戦略技術分野とし、「各種SQOL技術の創出とそれらを有機的にネットワーク化したサービスグリッド化」を図り、「首都圏特有の都市課題を解決し、持続的に発展可能な活力ある地域づくり」に貢献することを目標に取り組みしており、8年間の事業期間を経て、2019年度から3年間は自主事業期間として実施しました。

【首都圏西部地域 イノベーション事業推進】



2. 地域イノベ・重点プロジェクトWG(ワーキンググループ)の組成・実施

複数の企業・大学・地域が統一テーマで連携して取り組めるような研究開発プロジェクト(重点プロジェクト)を進めるWGを実施しました。WGでは、地域課題の解決につながるよう、ライフイノベーション、グリーンイノベーション分野を軸に、産学官金の連携によってSQOL技術案件を創出していくための協力体制の構築を進めました。



3. 医療イノベーションフォーラム分科会

(1) 分科会の経緯

文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム事業の中で「医療イノベーションフォーラム」を開催し、産学連携、産産連携による多くの案件を創出してきました。

本事業の終了に伴い、2019年度からケイ・アンド・ケイジャパン株式会社の代表取締役の久保田博南氏を座長として、限定メンバーで最新医療情報の収集と紹介、公的助成金事業への対応などに取り組んできました。

(2) 分科会活動

開催	出席	内容
5月31日 (月)	10人	①医療機器ソフトの行方 ②医薬品医療機器法改正 ③PMDAホームページへの添付文書掲載義務化 ④意見交換
10月25日 (月)	9人	①医療機器/健康機器業界情報 ②医療機器に係る基本適合性 ③パルスオキシメーター市場 ④意見交換
12月24日 (金)	10人	①国内外の規格—医療機器の周辺 ②薬機法との関連 ③国際規格(IEC)および国内規格(JIS)詳細 ④意見交換
3月3日 (木)	8人	①一般に広がるパルスオキシメーター ②血中酸素飽和度測定機械器具の取扱い ③ヘルスケアおよびメディカルに関する意見交換

連携促進の取組

I 異能vationプログラム ネットワーク拠点

総務省 異能vationプログラムのネットワーク拠点として登録し事業を実施しました。

「TAMA協会アイデアコンテスト」として会員企業、大学、行政機関、金融機関など広くから奇想天外でアンビシャスなアイデアを募集、協会としてアイデアコンテストと異能Vationプログラムへの推薦を行いました。

1. 異能(inno)vationプログラム 概要

総務省が平成26年より実施している、ICT分野において、破壊的な地球規模の価値創造を生み出すために、大いなる可能性がある奇想天外でアンビシャスなICT技術開発課題に失敗をおそれず挑戦する人を支援するプログラムです。

2. 異能vationネットワーク拠点について

海外2拠点を含む53箇所の運営協力機関が異能vationネットワーク拠点として活動しており、企業、地方公共団体、教育機関、個人事業主、塾、コワーキングスペース運営者、プログラミング教室等、普段から異能な人材やアイデアに触れ、応援している方を持つ団体がネットワーク拠点として活動を行なっています。

3. 今季活動報告

●TAMA協会アイデアコンテストを開催

- ・募集期間：令和3年6月1日～令和3年7月28日
- ・応募件数：38件
- ・推薦件数：11件
- ・TAMA協会表彰：大賞:1件 特賞:2件
- ・異能Vation表彰：なし

●イベント参加：OPEN異能vation2021開催概要

- ・開催日：令和3年12月15日（水）
- ・時 間：13:00～16:00
- ・場 所：YouTube等でライブ配信



II J-Good Techマッチングニーズ調査(中小企業基盤整備機構受託事業)

中小企業のビジネスチャンスにタイムリーに対応すべく、環境分野における大手企業等のマッチングニーズを把握するための調査を実施しました。



● 内容

環境問題の解決に関する企業活動の現状分析、技術開発や共同研究等のマッチングニーズを把握するためのヒアリング調査。

- ①環境問題の解決に関する課題やビジネスチャンスについて（分野・テーマ・技術課題等）
- ②環境問題の解決に関する課題やビジネスチャンスに対するの自社の取り組みの現状
- ③自社における共同開発や共同研究パートナー、業務委託先、調達先等のマッチングニーズ

○ 調査結果

ヒヤリング内容：カーボンニュートラルを中心に、環境問題を解決し得る技術の開発等に取り組む大手企業のマッチングニーズの調査

対象企業：大手企業 5 社（業界：食品・電気・電子）

調査件数：ニーズ 15 件

実施期間：令和3年6月17日 ～ 令和3年8月31日

○ 調査結果

ヒヤリング内容：地球温暖化対策（脱炭素等）、大気・土壌・水質・海洋等汚染対策、資源循環・資源保護等々、様々な環境問題に対しての解決を目指し、技術の開発等に取り組む大手企業のマッチングニーズ調査

対象企業：大手企業 8 社（業界：食品・電気・電子）

調査件数：ニーズ 22 件

実施期間：令和4年1月7日 ～ 令和4年3月15日

知的財産活動支援事業（経営デザインシート）

事業者：一般社団法人首都圏産業活性化協会
 連携機関：一般社団法人東京都中小企業診断士協会三多摩支部
 一般財団法人知的財産研究教育協会
 所沢市、八王子市、羽村市、相模原市

事業概要・目的

- 首都圏西部地域で、デジタル化・イノベーション創出に取り組む中小企業の「稼ぐ力」の強化に向けた支援体制を構築
 - 自治体・支援機関による連携
- 組織風土改革のプロによる知財の見える化支援
 - 「自社に眠る財産掘り起こし」セッションの開催
- 弁護士によるセミナーおよびハンズオン支援
 - 特許庁の「モデル契約書ver1.0」に基づく支援

成果

- 「自社に眠る財産の掘り起こしセッション」の基礎講座と集合型研修を通じて、内部資源から新たな価値と可能性の引き出しを行なった。
- 知財活用型デジタル化推進・イノベーション推進企業を、埼玉県、東京都、神奈川県より4社、予備軍(候補企業)を埼玉県、東京都、神奈川県、群馬県より14社選定し、自社が目指す新たな価値提供の可能性および自社の経営資源（内部資源・外部資源）を整理し、「経営デザインシート」への落とし込み、および「知財人材スキル標準」に基づくヒアリングを行なった。
- 個別支援にあたり、支援企業の立地自治体、支援機関等が企業訪問に同行する等により、経営デザインシートによる企業支援のスキル向上を図り、地域と一体となり経営デザインシートを広める活動にも取り組んだ。
- 弁護士による支援
 1. デジタル化推進・イノベーション推進における知財戦略・予防法務セミナー 3回開催 97名が参加。
 2. オープンイノベーション促進のためのモデル契約書に基づくハンズオン支援 3社
- オープンイノベーションマッチングイベント等への参加促進
 - 『スマートファクトリーJAPAN2021』（東京ビッグサイト）に出展
令和3年12月1日(水)～3日(金)
 - 内容 協会PR（各種資料、ポスター）、経営デザインシート作成支援事例(以下3社)／(株)バンガードシステムズ（埼玉県所沢市）、(株)イチカワ（東京都羽村市）、(株)MEMOテクノス（神奈川県相模原市）



事業のポイント



- ・ 組織風土改革のプロによる支援
 - － 「自社に眠る財産掘り起こし」
～内部資源から新たな価値と可能性の引き出し～
- ・ 知財の見える化支援
- ・ 弁護士による支援
 - － 「知財戦略・予防法務セミナー」の開催
 - － 特許庁の「モデル契約書ver1.0」を雛形にハンズオン支援

本事業の実施地域は、埼玉県、東京都、神奈川県、および首都圏近郊

中小企業の「稼ぐ力」の強化に向けた支援体制を構築

① 組織風土改革のプロによる支援

「自社に眠る財産の掘り起こしセッション」の基礎講座と集合型研修を通じて、内部資源から新たな価値と可能性の引き出しを行った。

(i) 「自社に眠る財産の掘り起こしセッション」基礎講座

第1回 令和3年7月28日(水) 16:00～17:30

第2回 令和3年8月6日(金) 14:30～16:30

第3回 令和3年8月18日(水) 16:00～17:30

開催方法：オンライン会議システム Zoom(コロナウイルス感染拡大防止のため)

講師：株式会社スコラ・コンサルタント プロセスデザイナー：岡村衡一郎氏、内田拓氏

一般社団法人知的財産研究教育財団 事業部長：近藤泰祐氏

対象：企業、自治体、金融機関

参加者数：26名

(ii) 「自社に眠る財産の掘り起こしセッション」集合型研修

日時・テーマ：

第1回 令和3年9月7日(火) 10:00～17:00 会社と個人の財産掘り起こし(Day.1)

@八王子市学園都市センター

第2回 令和3年10月5日(火) 10:00～17:00 会社と個人の財産掘り起こし(Day.2)

@社のホールはしもと

第3回 令和3年11月5日(金) 10:00～17:00 フューチャーセッション

@所沢市役所

第4回 令和3年12月7日(火) 10:00～17:00 移行戦略課題の明確化

@富士電機研修センター

講師：株式会社スコラ・コンサルタント プロセスデザイナー：岡村衡一郎氏、

内田拓氏

一般社団法人知的財産研究教育財団 事業部長：近藤泰祐氏

(上記第3回をメインに担当)

対象：企業、自治体

参加者数：30名



② 知財の見える化支援

前述①の取り組みを通じて明らかになった自社が目指す新たな価値提供の可能性および自社の経営資源（内部資源・外部資源）を整理し、「経営デザインシート」への落とし込み、および「知財人材スキル標準」に基づくヒアリングを行った。（※印は「自社に眠る財産の掘り起こしセッション」に参加）

(i) 知財活用型デジタル化推進・イノベーション推進企業（先行企業）

埼玉県、東京都、神奈川県より4社選定

1. 株式会社バンガードシステムズ（埼玉県所沢市）※
2. 株式会社電子制御国際（東京都羽村市）
3. 株式会社やましたグリーン（東京都八王子市）
4. 株式会社MEMOテクノス（神奈川県相模原市）※

(ii) 知財活用型デジタル化推進・イノベーション推進企業の予備軍（候補企業）への推進

埼玉県、東京都、神奈川県、群馬県より14社選定

1. 株式会社イチカワ（東京都羽村市）※
2. 立川精密工業株式会社（東京都羽村市）※
3. 壺坂電機株式会社（東京都八王子市）※
4. 株式会社トライヤーン（東京都東大和市）※
5. 株式会社東金パッキング（東京都東村山市）※
6. 株式会社リサシステム（東京都町田市）※
7. 株式会社レスカ（東京都日野市）
8. プライムテックエンジニアリング株式会社（東京都文京区）
9. 有限会社エース商会（埼玉県狭山市）
10. Unibus運営事務局（埼玉県ふじみ野市）
11. 日光化成株式会社（神奈川県厚木市）※
12. 株式会社シグマ工業（神奈川県相模原市&愛甲郡）※
13. 株式会社ロボデックス（神奈川県横浜市）
14. 株式会社オギノ（群馬県太田市）※



「経営デザインシートの作成例」(見本)

事業内容	事業活動	No.	課題	評価項目	
事業企業	1. 1 製品企画	1.1.1	事業戦略に基づき、自社の技術を活かす方策や差別化となるポイントを考えているか？	2. 他一社戦略	
		1.1.2	先行・類似技術情報収集しているか？	先行技術調査	
		1.1.3	知財の輸出機会を確保し、社内の活性化に努めているか？	知財輸出機会	
		1.1.4	知財リスクを想定しているか？	知財リスク	
	1. 2 研究開発	1.2.1	「知財デジタル化推進」	公開・非公開	
		1.2.2	知財化プロセスを認識することで、人材育成に努めているか？	企業価値	
		1.2.3	現場を巻き込んだ知財関連会議を行っているか？	知財管理	
		1.2.4	(海外での) 知財権をどう活かしているか？	知財輸出戦略	
		1.2.5	社内(社内)の情報管理体制を整備しているか？	情報管理	
					知財
					情報

「中小企業知財レベルヒアリングシート」(見本)

③ 弁護士による支援

知財戦略・予防法務セミナーおよび特許庁の「モデル契約書」に基づくハンズオン支援を実施しました。

(i) デジタル化推進・イノベーション推進における知財戦略・予防法務セミナー

第1回 令和3年10月20日(水) 16:00~18:00

テーマ：技術法務概論+知財戦略

講師：弁護士法人内田・鮫島法律相談事務所 弁護士/弁理士 鮫島正洋氏
「モデル契約書」の総論について解説

第2回 令和3年11月10日(水) 16:00~18:00

テーマ：モデル契約書を使った法務のあり方/OIの進め方
～ハードウェアビジネスの進め方(材料編)～

講師：弁護士法人内田・鮫島法律相談事務所 弁護士/弁理士 高橋正憲氏
「モデル契約書」材料編を用いて解説

第3回 令和3年11月24日(水) 16:00~18:00

テーマ：モデル契約書を使った法務のあり方/DXの進め方
～個人情報保護・営業秘密(データ編)～

講師：弁護士法人内田・鮫島法律相談事務所 弁護士/獣医師 永島太郎氏
「モデル契約書」データ編を用いて解説

開催方法：オンライン会議システム Zoom(コロナウイルス感染拡大防止)

参加者数：97名

- (ii) 弁護士によるオープンイノベーション促進のためのモデル契約書に基づくハンズオン支援
 支援企業：3社（知財戦略・予防法務セミナー出席者および地域企業の要望に基づき実施）
 1. 株式会社海野技研（東京都羽村市）
 2. 株式会社吉増製作所（東京都あきる野市）
 3. ヤマグチロボット研究所（東京都日野市）

④ その他、知財の見える化・デジタル化・イノベーション推進支援体制の構築に向けた取り組み

(i) 連携体制構築・連携協議会の開催

本事業の実施にあたっては、以下7機関による支援体制を構築。

年3回の協議会を開催し、支援体制の共有を図りました。

幹事法人：一般社団法人首都圏産業活性化協会

連携機関：一般社団法人東京都中小企業診断士協会三多摩支部

一般社団法人知的財産研究教育財団

埼玉県所沢市、東京都八王子市、東京都羽村市、神奈川県相模原市

連携協議会

第1回 令和3年7月 9日（金）16:00～17:00 首都圏産業活性化協会／オンライン併用

第2回 令和3年10月8日（金）16:00～17:00 首都圏産業活性化協会／オンライン併用

第3回 令和4年3月11日（金）14:00～14:30 富士電機株式会社／オンライン併用

(ii) 金融機関・コーディネーター向け勉強会

テーマ：金融機関の未来 ～金融面から社会的課題を解決する人材の育成～

（ローカルベンチマークや経営デザインシートを活用する重要性を再認識）

日時： 令和3年11月15日（月）16:00～17:00

開催方法： 八王子市新産業開発・交流センターおよびオンラインシステム併用

講師：一般社団法人日本金融人材育成協会 会長 森 俊彦 様

参加者数：15名

対象：金融機関において、産業振興および産学官金連携等をミッションに活動している方

(iii) 事例発表会（合同発表会）

各社の知財活動支援終了後、一堂に会して代表企業5社による取り組み事例発表会を実施

日時： 令和4年3月11日（金）15:00～17:30

開催方法： 富士電機株式会社能力開発センターおよびオンラインシステム併用

参加者数：44名

実施内容：

- ・事業概要とハンズオン支援取り組み説明
- ・総括（事業の目的・期待される効果、取り組み体制、スケジュール、対象企業）
- ・各社の取り組み報告（企業およびコーディネーターによる発表）
 1. 株式会社MEMOテクノス（池田コーディネーター）
 2. 株式会社リサシステム（内山コーディネーター）
 3. 立川精密工業株式会社（川下コーディネーター）
 4. 株式会社イチカワ（下垣コーディネーター）
 5. 株式会社レスカ（久保コーディネーター）

(iv) オープンイノベーションマッチングイベント等への参加促進

デジタル化推進・イノベーション推進の方向性が明らかになった企業を選定し、展示会への出展
 および個別の状況に応じたマッチングの支援を行った。

日程：令和3年12月1日（水）～3日（金）

場所：東京ビッグサイト 西ホール

『スマートファクトリーJAPAN2021』

サービスロボットメカトロゾーン

出展内容：協会PR（各種資料、ポスター）

経営デザインシート作成支援事例展示

- 出展企業：1. 株式会社バンガードシステムズ（埼玉県所沢市）
 2. 株式会社イチカワ（東京都羽村市）
 3. 株式会社MEMOテクノス（神奈川県相模原市）



Jacky柴田のマーケティング道場

昨年に引き続き羽村市主催、当協会が企画運営を担い、マーケティングセミナーを開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済の変革の中での事業継続を支援するため「afterコロナ、withコロナ」を念頭に、激変する時代環境に直面する企業の対応について事例を交えてお話を頂きました。

講師

Jacky 柴田 正幸 氏



エレクトロニクス関係の取材記者の後、コンサルティング会社勤務。
 コンシューマ・マーケティング部門の責任者として食品、家電、自動車、住宅、化粧品などの分野でリサーチ、商品開発、コミュニケーション戦略などマーケティング全般にわたって経験。
 1994年、独立してJacky Marketing Office 代表。
 SBI（スタンフォード研究所よりスピンオフ）でJapan-VALSのプロジェクト・マネージャー兼務。東京理科大学大学院 MOT 講師。

全体テーマ：「after コロナ、with コロナ」と「企業の対応」を考える

開催日	テーマ	内容	参加人数
1月18日 (火)	「Customer／顧客ベネフィットの変化」	ここ数年で「顧客ベネフィット」の発現がかなり変わり、予想もしなかったモノ・コトが人々の支持を集めている。どうやら今までとは全く異なる視点でベネフィットを考える必要が出てきている。様々な事例を用いながらベネフィットという視点で考察した。	36人
2月8日 (火)	「Competitor／競争環境の変化」	基本的な競争戦略はこれからも必要だが、そのフィールドとなる「業界」という考え方に大きな変化が出てきている。業界の枠がどんどん複雑になってくれば、皆様が考える「業界」という概念も変更を余儀なくされる。ともなれば、業界をベースに考える競争戦略も修正が加えられるべきである。こうした状況に応じた競争戦略（生き残りではなく、勝ち残り戦略）のヒントを考察した。	32人
3月10日 (木)	「Company／自社の競争資産の変化」	新しいベネフィット視点の商品・サービスを考えるにしても、新しい競争戦略を考えるにしても、考案し実施する主体は「人」である。となれば、人材問題は今まで以上に重要な位置を占めるようになる。中小企業が若者を採用する事は敷居が高いように思われるが、実は「中小企業またはベンチャー企業を志望する優秀な若者は厳然と存在する」のである。その共通点について事例を交えながら考察した。	34人

<アンケート抜粋>

机上の空論ではなく、身近な内容として学ばせて頂きました。

全3回を通して、多角的なヒントを頂いたような気がします。

こんなに有益なセミナーははじめてでした。大変価値のあるお話でしたので、すぐに行動に移したいと思います。

個社支援事例

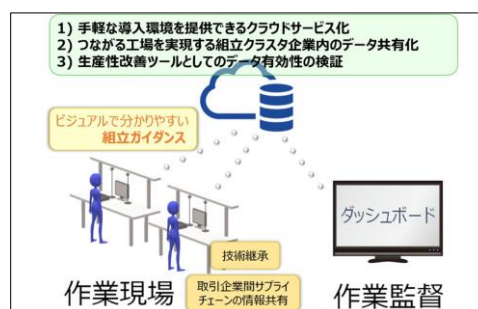
I 中小企業へのIoT化支援事業 2020年度 公募型共同研究(分野協業型研究)

1. プロジェクト概要

公募型共同研究は、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが中小企業者に研究開発を委託し、その研究開発の一部を都産技研が分担（都産技研が保有するシーズの活用や施設・設備の利用等）して実施する共同研究です。IoT共同開発研究では新製品、新サービスの創出を目的に研究開発を進め、IoTソリューション研究ではそれに加えて実証実験を実施することとしております。これらの研究を通して得られた知見について、展示会やIoTテストベッドを通して広く提供できることを目指しています。

2. 研究概要

- 研究種類：分野協業型研究（1年間）
- 研究概要：「業界団体等の会員の共通課題を解決すること」を目的としたIoTを活用した新製品・サービスの実証研究を行うもの。
- 研究テーマ：画像による組立現場のデジタル化と企業間共有技術の開発
- 課題
産業用機器の組立現場では、前提教育や作業指導において、文章や図による手順書類ではノウハウが伝わりにくいこと、実際に手順書類を見て作業しているか管理が難しいこと、といった課題があり、技術継承や外部委託もままならない。
- 解決方法
(株)イチカワが社内組立プロセスを対象に、現場のデジタル化、生産性改善、技能継承、クラスタ(取引協力企業群)内サプライチェーン強化を目的に開発した工程の見える化ツール「iM-Manager」で動画を使ったビジュアルでわかりやすい「組立ガイダンス」を作業員へデジタル配信し、IoTを利用して、進捗や結果データを蓄積する。データを分析することで、作業改善や作業員間のバラツキ解消を目指す。



3. 研究体制

- システム開発：(株)イチカワ
- HMI評価：共同研究者 ティアックオンキョーソリューションズ(株)
- 機能・性能の実証評価：実証先企業 (株)M-PAL
- データの有効性評価：(株)イチカワ
- 市場調査：共同研究者 一般社団法人 首都圏産業活性化協会

4. 取組み内容

クラウド化するにあたり、現場操作性、クラスタ企業内開示レベル、工程情報可視化方法など見える化の仕様に係わる事項について関連企業への調査を実施。

- 会員企業4社、非会員企業1社へのヒヤリング及びヒヤリング結果をまとめ「画像による組立現場のデジタル化と企業間共有技術の開発」市場調査報告書として提出完了。
(2021年6月30日)

研究開発支援事業（競争的資金獲得支援）

I 2021年度 競争的研究資金事業・提案への支援状況

会員企業の研究開発、技術及び生産の革新を支援し企業が目的とした技術の開発もしくは製品を商品化し、企業経営の安定化・成長を図り、それらの波及による地域振興を目的として、従前から様々な研究開発支援事業を展開しています。

さらに、TAMA-TLO(株)と協力して、企業のニーズを的確にヒアリングし、各テーマに関連した技術シーズを持つ大学研究者を選定し、産学連携での研究開発活動も推進しました。

1. 各種公的助成金事業での支援

国や自治体の公的助成事業（競争的研究資金）を多くの会員企業に有効活用していただくため、迅速な情報提供・周知→個別相談会→計画書／提案書作成支援→採択後の事業遂行の支援を行いました。

（1）支援した助成事業

- | | |
|-------------------|---|
| ① 東京都中小企業振興公社 | 東京都 令和3年度新製品・新技術開発助成事業 |
| ② 東京都中小企業団体中央会 | 令和3年度 明日にチャレンジ中小企業基盤強化事業 |
| ③ 中小企業庁 | 令和2年度第3次補正予算「中小企業等事業再構築促進事業」
（第1次）（第2次）（第3次）（第4次）（第5次） |
| ④ 中小企業庁 | 令和3年度戦略的基盤技術高度化支援事業 |
| ⑤ 全国中小企業団体中央会 | 令和元年度補正・令和2年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金
（第6次）（第7次）（第8次） |
| ⑥ 神奈川県 | 令和3年度神奈川県中小企業・小規模企業感染症対策事業費補助金 |
| ⑦ 東京都中小企業振興公社多摩支社 | 多摩ものづくりコミュニティ組成支援事業 |
| ⑧ 市村清新技術財団 | 第108回新技術開発助成（令和3年度2次） |

（2）採択された助成事業

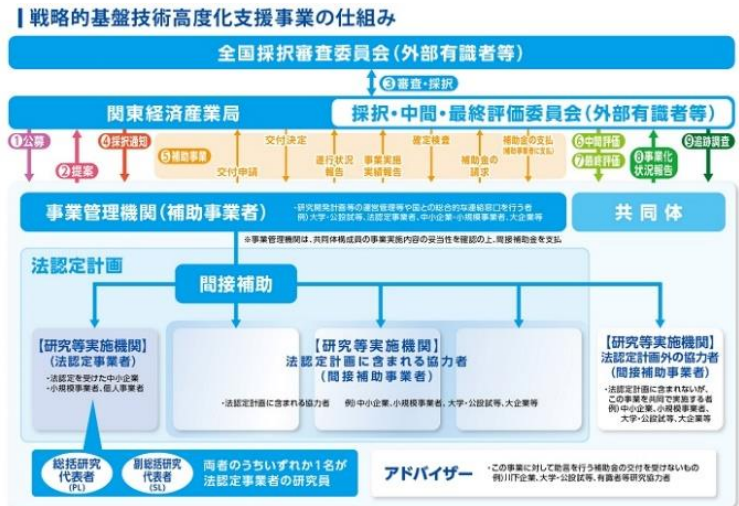
- | | |
|-------------------|---|
| ① 東京都中小企業振興公 | 東京都 令和3年度新製品・新技術開発助成事業 |
| ② 中小企業庁 | 令和2年度第3次補正予算「中小企業等事業再構築促進事業」
（第1次）3件、（第2次）6件、（第3次）2件、（第4次）2件、
（第5次）※採否未発表 |
| ③ 中小企業庁 | 令和3年度戦略的基盤技術高度化支援事業（2件） |
| ④ 全国中小企業団体中央会 | 令和元年度補正・令和2年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金
（第7次）1件、（第8次）2件 |
| ⑤ 東京都中小企業振興公社多摩支社 | 多摩ものづくりコミュニティ組成支援事業 |



サポイン Supporting Industry

中小企業の研究開発・試作品開発などを支援する事業

サポイン（戦略的基盤技術高度化支援事業）は「Supporting Industry」の略で、中小企業・小規模事業者が大学や公設試験研究機関、他の企業などと共に、裾野産業の技術向上につながり、我が国産業を支えるものづくり基盤技術の高度化に向けた研究開発や試作品開発、販路開拓などの取組を支援するものです。最大3年間、合計で9,750万円の補助金を受けることができます。



■基本情報①■

補助事業期間：2年度又は3年度

補助金額：補助事業あたり、単年度4,500万円以下
 2年度の合計で、7,500万円以下
 3年度の合計で、9,750万円以下
 （定額補助率となる者については補助金総額の1/3以下であること）

補助率：2/3以内
 ※大学・公設試等の場合は定額
 （ただし大学・公設試等が事業管理機関として共同体に参加している場合に限る）
 ※同一機関が複数の補助率を適用することはできない

※上記は、令和3年度での公募要領記載の内容

■基本情報②■

サポインを申請するには、取り組もうとする研究開発が「中小ものづくり高度化法」で定められた「特定ものづくり基盤技術」にあてはまる事が必要。

※中小ものづくり高度化法とは※
 中小企業ものづくり基盤技術の高度化を図り、我が国の製造業の国際競争力及び新たな事業の創出を通じて、国際経済の健全な発展に寄与することを目的とするもの

- | | | | |
|---------------|----------------|-----------|------------|
| 1. デザイン開発技術 | 2. 情報処理技術 | 3. 精密加工技術 | 4. 製造環境技術 |
| 5. 接合・実装技術 | 6. 立体造形技術 | 7. 表面処理技術 | 8. 機械制御技術 |
| 9. 複合・新機能材業技術 | 10. 材料製造プロセス技術 | 11. バイオ技術 | 12. 測定計測技術 |

中小ものづくり高度化法で定められた「特定ものづくり基盤技術」について、各分野ごとに高度化に関する「高度化指針」が定められています。

<直近の全国、関東局圏内採択実績>

年度	予算額 (億円)	全国採択件数 (件)	関東申請件数 (件)	関東採択件数 (件)
平成26年度	126.0	150	135	43
平成27年度	138.6	143	111	44
平成28年度	139.7	113	107	35
平成29年度	130.0	108	96	22
平成30年度	130.0	122	103	29 (内1件)
令和元年度	131.0	137	93	38 (内2件)
令和2年度	131.2	105	115	33 (内3件)
令和3年度	109.0	60	86	14 (内2件)

※令和3年度は、全国247件の応募に対採択60件（倍率約4.1倍）

(3) 事業管理機関として支援した事業（新規2件、継続5件）

<継続案件>

令和元年度戦略的基盤技術高度化支援事業

テーマ名：圧倒的な高品質・低価格を実現するプレス複合深絞り技術を具現化した汎用プレス機用金型の開発

共同研究体構成：中核企業…有限会社山内エンジニアリング（神奈川県）

国立大学法人電気通信大学、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

研究開発期間：令和元年度～令和3年度

テーマ名：脱着可能な小型基準電圧源を用いた校正（運用）コストを低減させる高精度電子計測器の研究開発

共同研究体構成：中核企業…株式会社エーディーシー（埼玉県）

国立研究開発法人産業技術総合研究所

研究開発期間：令和元年度～令和3年度

令和2年度戦略的基盤技術高度化支援事業

テーマ名：革新的粉砕法を用いたカーボンナノマテリアルによる、高性能複合材（CFRP）の開発

共同研究体構成：中核企業…株式会社アルメディオ（東京都）

国立大学法人東京大学

研究開発期間：令和2年度～令和4年度

テーマ名：SiCおよびGaNウェーハおよび薄膜中の極微量金属不純物定量分析装置の開発

共同研究体構成：中核企業…株式会社イアス（東京都）

国立研究開発法人産業技術総合研究所

研究開発期間：令和2年度～令和4年度

テーマ名：次世代光学製品のための特殊なダイヤモンド切削技術を利用した超高精度専用機の開発

共同研究体構成：中核企業…池上金型工業株式会社（埼玉県）

パレス化学株式会社、国立大学法人茨城大学

研究開発期間：令和2年度～令和4年度

<新規案件>

令和3年度戦略的基盤技術高度化支援事業

テーマ名：難削材料の高効率・高精度加工のための無線型および空気軸受け超音波スピンドルの開発

共同研究体構成：中核企業…株式会社industria（埼玉県）

学校法人日本工業大学、国立大学法人東京工業大学

研究開発期間（予定）：令和3年度～令和5年度

テーマ名：夢の機能材料「グラフェン」量産化・低価格化を実現する革新的製造技術の開発

共同研究体構成：中核企業…株式会社常光（東京都）

国立大学法人大分大学

研究開発期間（予定）：令和3年度～令和5年度

補助金・助成金説明会、個別相談会の開催

●事業再構築補助金説明会・無料個別相談会

- ・日 時： 令和3年4月7日(水) 13:00
- ・主 催： 一般社団法人首都圏産業活性化協会
- ・開催方法： 対面／オンラインZoomのハイブリット形式
- ・内 容： ①事業再構築補助金に関する説明、質疑応答
②個別相談会

●「多摩ものづくりコミュニティ組成支援事業」説明会

- ・日 時： 令和3年6月11日(金) 15:30～16:30
- ・主 催： 一般社団法人首都圏産業活性化協会
- ・共 催： 公益財団法人東京都中小企業振興公社 多摩支社
- ・開催方法： オンラインZoom
- ・内 容： ①募集の主旨ご説明（首都圏産業活性化協会）
②事業のご説明（東京都中小企業振興公社）
③今後の進め方・支援の流れ（首都圏産業活性化協会）
④個別相談会

●事業再構築補助金セミナー

- ・日 時： 令和3年6月17日(木) 15:00～15:45
- ・主 催： 一般社団法人首都圏産業活性化協会
- ・共 催： 飯能信用金庫
- ・対 象 者： 事業再構築補助金を申請予定の事業者
- ・開催方法： 対面／オンラインZoomのハイブリット開催
- ・会 場： 飯能信用金庫 狭山支店
- ・内 容： ①本補助金の概要等の説明（首都圏産業活性化協会）
②計画書の作成方法について（首都圏産業活性化協会）
③お知らせ（飯能信用金庫 経営支援室）
④個別相談会

●第23回つなぐWaSessionオンラインミーティング 「研究開発プロジェクトを有利に進める外部資金の獲得」

- ・日 時： 令和3年11月26日（金） 16:00～17:30
- ・方 法： オンライン会議Zoom
- ・主 催： 一般社団法人 首都圏産業活性化協会
- ・後 援： 株式会社 さがみはら産業創造センター（SIC）
地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）
- ・スピーカー： ①独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部チーフアドバイザー 佐々木 浩子 氏
②株式会社常光 札幌研究開発室 課長 兼 医療機器・診断薬事業本部
営業サービス部 学術マーケティング課 課長 薬袋 博信 氏
③株式会社ハイメックス 代表取締役 中島 俊英 氏

● 第27回はむらイブニングサロン

- ・日 時： 令和4年 2月 21日（月） 16:00～17:30
- ・開催方法： オンライン会議システムZoom
- ・テ ー マ： 成長発展のヒント「企業支援の取組と活用事例」
- ・内 容： 1) 関東経済産業局 地域振興課
「経済産業省支援策等について～R3年度3次補正予算・R4年度当初予算案等～」
2) 経済産業省 関東経済産業局 産業技術革新課
「中小企業・小規模事業者支援の取組 ～事例とともに～」
3) 日光化成株式会社「支援策の活用事例紹介」

● 令和4年度予算「成長型中小企業等研究開発支援事業」(Go-Tech事業)
(旧サポイン事業、旧サピサポ事業)申請書の書き方セミナー

- ・日 時： 令和4年3月28日（月） 10:00～12:00
- ・開催方法： オンライン会議システムzoomにて開催
- ・対 象： 首都圏産業活性化協会会員
- ・内 容： 簡単な制度説明、申請書作成のポイントなど書き方説明、質疑応答
- ・講 師： 中小企業基盤整備機構 チーフアドバイザー 佐々木 浩子 氏

● 事業再構築補助金個別相談会

- ・日 時： 平日10:00～17:00 随時受付
- ・開催方法： 首都圏産業活性化協会会議室若しくはオンラインZoom
- ・参加費： 無料

Topics

Award member introduction

東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞

東京都では、都内の中小企業等で技能者の育成と技能継承について特に成果を上げた中小企業等「東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞」として表彰しています。この度会員企業3社が受賞されました。

優秀賞 <ものづくり部門：金属熱処理加工業>

多摩冶金株式会社

東京都武蔵村山市伊奈平2-77-1

代表取締役社長 山田 毅 氏

【H/P】 <http://www.tamayakin.co.jp/>

優秀賞 <ものづくり部門：電子機器製造業>

新協電子株式会社

東京都八王子市台町1丁目22-19

代表取締役 社長 中西 英樹 氏

【H/P】 <http://sinkyo.co.jp/>

奨励賞 <ものづくり部門：金属製品製造業>

武州工業株式会社

東京都青梅市末広町1-2-3

代表取締役 社長 林 英徳 氏

【H/P】 <https://www.busyu.co.jp/>

技術経営大学

I 概要

技術を経営資源とする企業のテクノロジーとマネジメントに精通した人材育成を行っていくため、各種団体や大学等と連携して「ものづくり人材育成プログラム“技術経営大学”」を開講しました。

会員ネットワークを生かし、技術・経営・生産管理などの講座や階層別社員研修などを実施いたしました。



II 面接官オンライン研修

中小企業様の社員採用（新卒・中途）における面接の基礎を学ぶ「面接官研修」を開催しました。新たに人事を任せられた方、自らの採用手法を見直したい方、最近の応募者の傾向を知りたい方向けに面接官を務める上での注意点、心得についてセミナーを実施しました。

開催日時：令和3年6月28日（月）14:00～17:00

開催方法：オンライン会議システム（Zoom）

参加対象者：採用業務や面接に携わる方

- ・初めての採用業務で面接をしたことがない
 - ・面接経験はあるが自己流のためきちんと学びなおしたい
 - ・応募者の本心を引き出したい
 - ・最近の応募者（ミレニアル世代～Z世代）の傾向を知りたい
- など面接官としてのスキルを身に着けたい方を対象。

参加人数：7人

講師：株式会社KIBI 上級研究員 見附 誠子 氏



プログラム	目的・ねらい
・研修ガイダンス	オンライン研修の環境確認
・面接の機能と目的	面接の基本スタンスと基礎知識
・面接官の役割 [個人ワークあり]	適正な人材を採用する 志望意欲を高める 会社や職場プレゼンの場
・応募者の気持ち	応募者の立場になって考えてみる 応募者を取り巻く環境
・面接でNGな事柄 [個人ワークあり]	コンプライアンスへの対応
・面接の進め方 [個人ワークあり]	面接前一面接中一面接後 ・事前準備 ・実際の面接の流れとポイント ・選考の基本スタンスと基礎知識
・応募者への理解と信頼関係を深める対話	・応募者への理解と信頼関係を深める対話 ・心の領域（思っていることや感じていること）での対話（情緒的コミュニケーション：5つの機微力） ・7分でできる面接トレーニングのご紹介
※オプション ・個別面接トレーニング	・実践トレーニング（ロールプレイング形式） オンラインによる1対1の個別面接トレーニング（実施時間45分）

Ⅲ 会社の未来を担う若手人材の採用方法が見えてくるセミナー

採用や育成の現場で何が起きているのか。我が国の新卒定期採用は今後どうなるのか。ミレニアル世代・Z世代との向き合い方は。経営戦略を実現する為の人事戦略の立案に向けて、押さえておきたい知識や事例をご紹介します。採用担当部署を持っていないような中小企業が、これからのコアとなる若手人材を採用する上で、経営者、採用担当者は具体的に何をすべきかを時代の潮流を踏まえてお話ししました。

開催日時： 令和3年9月6日（月）
 開催方法： Zoom開催／オンデマンド配信形式（Youtube）
 主催： 一般社団法人首都圏産業活性化協会
 参加者数： 11名
 視聴回数： 62回
 講師： 株式会社KIBI 上級研究員 見附 誠子 氏
 パネラー： 株式会社エリアフォース 西川 和行 氏



Ⅳ 中堅・中小製造業のためのIoT活用方法～お金を掛けず、すぐにやれる！IoTで本当の姿が見える～

生産管理を有効に機能させるには、正確な生産管理情報の取得が必要でありIoTを導入することで生産管理を見える化できます。本当に役に立つIoTの活用方法について、構成要素から構築方法、効果を出す使い方について解説しました。また講座のみの開催だけでなく、ご希望の方には「個別相談会」も併せて開催しました。

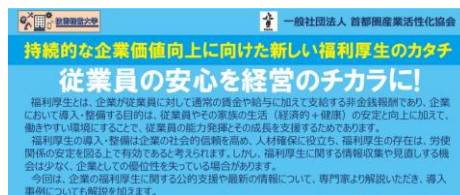
開催日時： 令和3年9月16日（木）15:00～17:00
 開催方法： オンライン会議Zoom
 主催： 一般社団法人首都圏産業活性化協会
 協賛： ITコーディネータ多摩協議会
 参加費： 無料
 参加人数： 23人
 講師： 下田 哲也 氏（ITコーディネータ）



Ⅴ 特別企画 野村証券様協賛企画「従業員の安心を経営のチカラに！」

福利厚生の導入・整備は企業の社会的信頼を高め、人材確保に役立ち、福利厚生の存在は労使関係の安定を図るうえで有効であると考えられていますが、反面、福利厚生に関する情報収集や見直しをする機会は少なく、企業としての優位性を失っている場合があります。その中で、企業の福利厚生に関する公的支援や最新の情報について専門家に解説して頂きました。

開催日時： 令和3年10月21日（木）16:00～17:30
 開催方法： オンライン会議Zoom
 主催： 一般社団法人首都圏産業活性化協会
 協賛： 野村証券株式会社
 参加費： 無料
 参加人数： 24人



講師： ①社会保険労務士 社会保険労務法人 阿部事務所 所長 阿部 真弓 氏
 ②野村証券株式会社 ライフプラン・サービス部 課長 市川 正己 氏
 ③＜事例発表＞株式会社菊池製作所 取締役 総務・人事・経理担当 乙川 直隆 氏

VI 第1回八王子市先端技術セミナー「可能性あふれる新素材 セルロースナノファイバー」

セルロースナノファイバー（CNF）とは、環境負荷の小さい植物由来の新素材です。鉄に比べ強度5倍・重さ1/5等の優れた特性と、2030年には出荷量が現在の5倍増と予想されていることから、シューズや紙おむつ等の既に実用化されているものにとどまらず、電子部品から食品添加物まで、幅広い分野での活躍が期待されています。本セミナーでは、CNF研究の第一人者である講師に、CNFが持つ今後の可能性等についてお話いただきました。

開催日時： 令和3年11月9日（火）15:00～16:10

開催方法： オンライン会議システムZoom

主催： 八王子市・一般社団法人首都圏産業活性化協会

後援： サイバーシルクロード八王子

内容： ①地方独立行政法人 京都市産業技術研究所 研究フェロー 北川 和男 氏
「実用化段階を迎えている セルロースナノファイバー（CNF）の最新動向」
②八王子市 環境部 環境政策課
「八王子市の環境対策」

VII 標準化戦略講座「中堅・中小製造業の知財&標準化戦略」

標準化は、新しい技術や優れた製品を速やかに普及させるためのツールであり、事業戦略を練る際に欠かせない存在です。しかしながら、「難しそう」、「よく分からない」、「国や業界団体の仕事だから、できたものに従うだけ」といった声が多数あり、標準化を上手く活用できていない様子が見られます。そこで今回は、企業の皆様に「事業戦略上、自発的に1つのツールとして標準化を活用できる」と理解していただくを目的として、本講座を開催しました。

開催日時： 令和3年11月16日（火）16:00～17:30

開催方法： オンライン会議システムZoom

主催： 一般社団法人首都圏産業活性化協会

協力： 一般財団法人日本規格協会

講師： 一般財団法人日本規格協会 標準化アドバイザー
千葉大学 名誉教授 山野 芳昭 氏

内容： ・技術標準の「きほん」：標準化とは
（商取引における企画の意義、活用により期待される効果）
・ビジネスにおける期待と効果：標準と知財との組み合わせ、活用事例
（標準化を利用したグローバル展開）
・支援策のご案内：新市場創造型標準化制度、支援制度の活用方法、
中小企業における活用事例。



Ⅷ 真田幸光先生による新春セミナー「2022年の国際環境と経済情勢」

新型ウィルスにより世界経済が低迷する中、米国F R Bは量的緩和の縮小を決定。足元では、原油高、食糧価格高、

人手不足、電力不足、半導体不足、金利上昇などと共に、コンテナ不足を背景とした物流の混乱も続き、多くの懸念が指摘され、また、これまで世界経済を牽引してきた中国本土経済の役割も一旦は消滅し、実体経済・金融経済共に悪化しつつ、世界同時不況が発生する可能性もあります。他方で、感染力が強いとされる新型コロナの変異株「オミクロン株」が今後、私たちの経済、社会、世界にどのような影響をもたらしていくのか、、、先行きが見えない中、迎えた2022年の世界経済における日本企業が取るべき戦略について、TAMA協会の新春講演会ではおなじみの愛知淑徳大学の真田教授に、多面的な見解を伺いました。

開催日時： 令和4年1月31日（月） 16:00～17:30

開催方法： オンライン会議システムZoom／武蔵野プレイス3階「スペースC」

主催： 一般社団法人首都圏産業活性化協会

参加者数： 34名

講師： 愛知淑徳大学 ビジネス学部研究科 教授 真田 幸光 氏



Ⅸ 令和3年度第1回八王子市海外展開スタートセミナー

八王子市では、中小企業の皆様を対象に海外展開についての理解を深め事業に活かして頂くことを目的として随時セミナーを実施しております。今回はコロナ禍において増加傾向にある《オンラインによる海外取引》をテーマとして、「オンラインのグローバル戦略とは」「オンライン展示会や越境ECの活用」「リアルとオンラインそれぞれのメリット・デメリット」について、様々な海外展開支援を手掛ける独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）様にご講演頂きました。

開催日時： 令和4年3月15日（火） 15:00～16:10

開催方法： オンライン会議システムZoom

主催： 八王子市・独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）東京貿易情報センター

後援： 一般社団法人首都圏産業活性化協会

講師： 独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）デジタルマーケティング部
プラットフォームビジネス課 池永 佑 氏
「コロナ過で注目される海外EC市場と海外オンライン展示会」

Topics

Award member introduction

GOOD DESIGN AWARD 2021

グッドデザイン賞は1957年に創設された日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の仕組みです。デザインを通じて産業や生活文化を高める運動として国内外の多くの企業やデザイナーが参加されています。このたび、グッドデザイン賞を会員企業が受賞されました。

グッドデザイン賞

株式会社小沢製作所（東京都青梅市今井3-4-31）

代表取締役 小沢 昌治 氏

【 H / P 】 <http://www.kk-ozawa.co.jp/index.html>

【受賞製品】 組み立て式焚き火スタンド [MOSS FIRE]

X 合同新人研修 (オンライン研修)



「仲間意識」「連携」「相互信頼」をテーマにしたオンラインでの新入社員研修を開催しました。社会人、プロフェッショナル人材への第一歩として必要なマナーやコミュニケーション、ものづくり企業で働くための基礎を地域の同期と共に学習しました。

開催日：令和3年4月5日(月)～7日(水)

会場：八王子市 新産業開発・交流センター

対象：令和3年度 新入社員～社会人3年目までの方

参加者数：7社 12名

講師：株式会社KIBI 上級研究員 見附 誠子 氏
首都圏産業活性化協会コーディネーター 横山 勝治 氏

カリキュラム：

=目的=	=プログラム=
<p>1. 組織で生き活きと活躍するための基礎・土台づくり。 【1】ビジネススタンス 【2】ビジネスマナー 【3】コミュニケーション 【4】メンバーシップ: KIBI理論 【5】今後に向けた目標設定</p> <p>2. TAMA協会を通して、次世代を担う新人が親交を深め、新たなものづくりやビジネス機会につなげていく。</p> <p>3. ものづくりに携わる基本スタンスの形成。</p> <p style="text-align: center;">=方針=</p> <p>体感型プログラムで、明日からの仕事に活かせる実践的な研修。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆教える受けるのではなく、自分やチームで考えて答えを引き出す。 ◆ワークやディスカッションで視野を広げ、組織で活躍できる機微力を身に付ける。 ◆PDCAサイクルを研修の中でも実践。 	<p>研修開催にあたって</p> <p>【1】社会人の心得・プロフェッショナル人材への第一歩 企業・組織のルール</p> <p>【2】ビジネスマナー 挨拶・電話対応・名刺交換・SNS他コンプライアンス・報告</p> <p>【3】期待や要望をされる人材になるためのコミュニケーション (1) 自分を理解し、強みを活かし弱みをコントロールする ・自己プレゼンテーション (2) 自社を理解する・求められる知識や技術を捉える ・会社プレゼンテーション ・知識と経験取得の目標設定</p> <p>【4】組織・チームで活かすメンバーシップ: KIBI理論 ・他者と自分の異を「認識」し「リスペクト」した上で、組織やチームを共に作っていくメンバーシップを理解</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>KIBI理論: 5つの機微力</p> <ul style="list-style-type: none"> ①状況想像力 今後起こりうる状況を想像する力 ②リアクション力 状況に応じた最善を実行する力 ③気持ち察し力 相手の立場に立ち、相手の気持ちを感じとる力 ④共感力 相手の立場に立ち、共感する力 ⑤柔軟性 相手に応じて柔軟に寄り添う力 </div> <p>【5】ものづくり基礎研修(3日目午後実施)</p> <p>【6】今後の目標設定と研修の振り返り 組織の期待と要望を受け止めて、自分の持ち味を活かす目標設定</p>

●フォローアップ研修

研修受講生間の交流を促進し、「地域の同期」の関係を強化するため、研修での学びと気持ちを振り返り、日々の業務に活かすため、対面形式でフォローアップ研修を行いました。



開催日：令和3年11月9日(火)
13:00～17:00

形式：Zoomオンライン形式

内容：

- ・新人研修の振り返り
- ・目標設定(計画)
- ・機微力の定着化
- ・同期としての関係性構築

XI 2022年入社対象者の為の内定者フォロー研修（オンライン開催）

地域企業様の内定者の方々を対象に、これから社会で生き抜くタフさを身に着けるための内定者フォロー研修を行ないます。入社直前の来春まで継続的に接点を持つことで「内定者の状況把握」や「企業とのつながり」を深めながら内定辞退や入社後の早期退職防止のサポートを行いました。

2022年卒対象 入社までの継続サポートを実現する 内定者合同フォロー研修 オンライン開催

新卒採用企業様と協働で地域企業様の内定者の方々に、これから社会で生き抜くタフさを身に着けるための内定者フォロー研修を行ないます。入社直前の来春まで継続的に接点を持つことで内定者の状況把握や企業とのつながりを深めながら内定辞退や入社後の早期退職防止のサポートを行います。

研修5つの特徴

- 入社直前までの継続フォローにより学生状況をタイムリーにつかめます。
- 内定者フォロー計画が研修を中心に組まれるため企業側の負担も軽減できます。
- 「学生動向」「企業対応」「採用活動」のいずれにも知識・経験を持つ講師が担当。
- 企業担当者様向けの報告会も行い、企業側の不安や懸念の解消にも役立ちます。
- アセスメントにより内定者の多様性に対応したコミュニケーション能力を測定します。
- 講座終了後に内定者から企業担当者へ報告をします。

目的

- ・ 内定辞退、入社後早期退職の防止
- ・ 組織や状況の変化に対応できるタフさを身につける
- ・ 入社に向けた準備

受講料（内定額+能力検定）

合計 38,000 円（税込）/1名
 一講 19,000 円（税込）/1名
※講座①～③の研修参加費を軽減しております。
 ※能力検定検定費は別料金、別途ご告知いたします。

対象：令和4年入社予定の採用内定者

参加者数：3社 10人

テーマ：社会で生き抜くタフさを身につける
 社会に送り出す
 人とかかわっていく覚悟醸成

1回2時間(15:00-17:00開催) 来春まで計6回の研修
 +多様性対応コミュニケーション能力測定を実施

日程

10月スタート日程	11月スタート日程
講座① 10/25 (月)	講座①② 11/12(金)
講座② 11/16 (火)	※11/20(水)09:00-17:00開催
講座③ 12/9 (木)	※オンラインシステムZoom®利用
講座④ 1/12 (水)	※参加費無料の個別セッション
講座⑤ 2/10 (木)	※企業様は別途ご依頼ください
講座⑥ 3/9 (水)	

開催日：1課目2時間 計6課目の研修
 下記日時で都合の良い日時を選択し受講
 講座① 10/25 (月) または 11/12 (金)
 講座② 11/12 (火) または 11/16 (火)
 講座③ 12/9 (木)
 講座④ 1/12 (水)
 講座⑤ 2/10 (木)
 講座⑥ 3/9 (水)

形式：オンライン会議システムZOOM

対象：令和4年入社予定の採用内定者

参加者数：3社 10人

テーマ：社会で生き抜くタフさを身につける
 社会に送り出す
 人とかかわっていく覚悟醸成

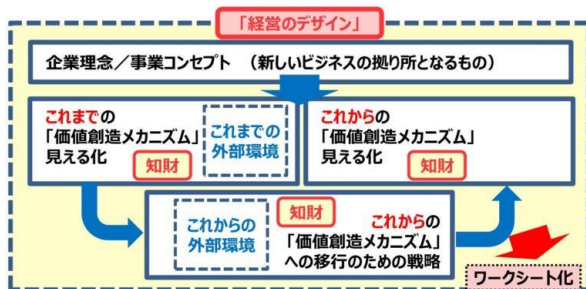
講師：株式会社KIBI 上級研究員 見附 誠子 氏

- 内容：① 大人と社会人の違いを理解する
 ② 自分のキャリアを考える
 ③ 想定と現実のギャップを乗り越えるヒント
 ④ 関係性構築とコミュニケーション土台作り
 ⑤ ストレスの構造を知り環境変化に対応する準備を行う

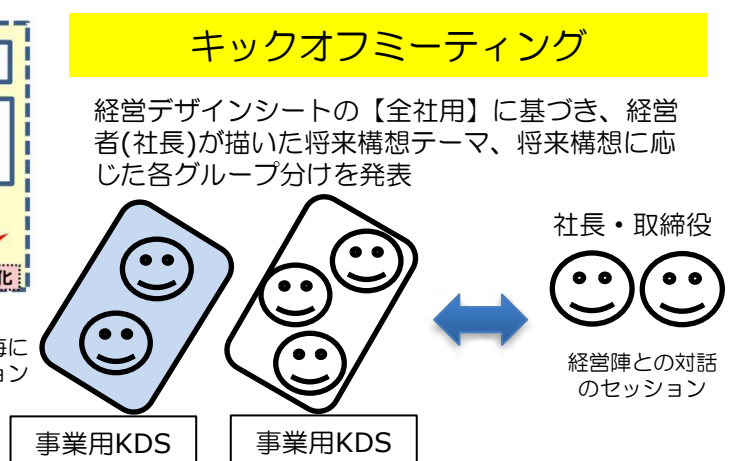
XII 経営デザインシートを活用した中堅社員研修

目的：経営デザインシート(KDS)【全社用】をもとに、KDS【事業用】を作成する取り組みを通じて、会社全体で行なうこと、その中で事業部が果たす役割、マネージャーの役割・ミッションを、自分なりの言葉に落とし込む。グループ作業を通じて、他者、相手との価値観や考え方、立場など、様々な違いを受け入れ、関係性を築き、多様性対応コミュニケーション能力を身につける。

実施方法：KDS【全社用】は経営者が作成する。グループ分けを行ない、キックオフミーティングを開催し、経営者よりKDS【全社用】とクラス分けの発表。グループディスカッションと伴走支援によるKDS【事業用】の作成を支援し、最後に全体発表会を行なう(下図参照)。



各グループ毎に個別セッション



次世代トップリーダー育成講座 — サステナビリティ経営スクール —

1. プロジェクト概要

首都圏地域で中核を担っていく若手経営者や経営幹部
・経営者候補を対象に、サステナブルな経営を考え、トップリーダーとして必要な資質を得るためヒントや知識の取得、ネットワーク形成を目的としたスクールを開講しました。



2. 開催概要

- ・開講日・期間：令和2年9月25日（金）～ 1年間（予定）
2ヶ月に1回定例会を開催（年6回／17:00～21:00）
- ・内 容：自己・会社紹介、先輩経営者等による講演、参加企業プレゼン、交流会
視察（年1回）、他知識習得のための勉強会等を予定。
- ・対 象：若手経営者、経営幹部・経営者候補
- ・参加者：11名
- ・世話人：高橋 一彰 氏（首都圏産業活性化協会 副会長、株式会社industria 代表取締役）

3. 開催報告

- ・第3回 開催日：令和3年 7月 30日（金） 16:00～ 18:30
テーマ：「先輩経営者に学ぶ」をテーマとして「サステナブルな経営(定義)を自ら考える」為のヒントを提供～
講 師：田島 瑞也様（スタック電子(株) 創業者、首都圏産業活性化協会 元会長）
- ・第4回 開催日：令和3年10月29日（金） 16:00～21:00
テーマ：前回講義内容に関する質疑応答、自社や個人の悩みや課題の相談
講 師：田島 瑞也様（スタック電子(株) 創業者、首都圏産業活性化協会 元会長）
- ・スピノフ企画 開催日：令和3年11月22日（月） 13:30～15:45
テーマ：企業見学兼工場見学 ＊我が社のDX戦略＊
講 師：林 英夫様（武州工業株式会社 代表取締役会長）
- ・第5回目の開催については令和4年2月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により延期しております。



他機関との連携

令和3年度 新たに連携協定を締結した機関のご紹介

NPO法人北関東産官学研究会(HiKaLo) (協定締結年月：令和3年9月10日)

【連携協定の狙い】

HiKaLoと首都圏産業活性化協会は、相互に連携、協力及び綿密な情報交換を行うことにより、当該地域の中堅・中小企業等の製品開発力の強化や市場の拡大、新規創業環境の整備等により、イノベーションの創出を図ることを目的に連携協定を締結しました。



【今後の活動内容】

今後はマッチングに基づく具体的な商談や面談の機会として、技術連携交流会を共同で開催するほか、双方協力による各種セミナーの開催など、会員企業の製品開発力強化や市場拡大、環境の整備等によるイノベーションの創出を支援します。

1. 各種交流会の開催

・技術連携交流会

大手企業が指名した企業や大学研究者との面談

・ソリューション提案交流会

企業・大学の課題を提示いただき解決できそうな企業・大学と面談

・イブニングサロン

技術にプライドを持つ企業・大学がプレゼンを行ない、それを聞いた意欲的な企業たちとのマッチングを目指した異業種交流会

2. 共同開発支援・案件支援

・群馬県・栃木県・茨城県の協会会員に対する技術支援、経営支援、デジタル化の支援

・同地域における事業再構築支援、ものづくり基盤技術高度化(サポイン)、ものづくり補助金、その他競争資金への応募、案件の発掘、醸成

3. 企業の人材育成

・技術経営大学の共同開催、教育コンテンツの共同配信等

・知財人材の育成 (経済産業省「中小企業知的財産活動支援事業」採択事業)

4. HiKaLo事業・個別支援案件への協力

・各種研究会のPR・企業参加募集

・その他

【NPO法人北関東産官学研究会について】

本研究会は、群馬大学理工学部を中心に、県内や近県の大学及び企業等が構成員となり、北関東地域における学術及び技術の交流や向上を図り、研究ニーズに基づく産学官共同研究の支援と技術シーズの移転の推進による地域産業の振興と大学の教育研究の活性化を目的として平成14年に設立された研究会。

連携協定締結機関と、下記の連携事業を実施しました。

(1) コニカミノルタ株式会社（協定締結年月：平成31年2月）

【連携協定の狙い】

会員企業の生産性向上等に向けた産業振興の加速、アプリケーションの共創やワークフロー変革を期待し、コニカミノルタ（株）が全社を挙げて取り組むIoTによる業務プロセス変革で培ったノウハウを活用した支援

【活動報告】

◎ 技術連携交流会 @八王子

- ・開催日：令和3年11月17日（水）14:00～17:00
- ・開催方法：オンライン開催
- ・参加企業数：6社
- ・面談数：5件



(2) 独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部（協定締結年月：令和元年6月）



【連携協定の狙い】

ジェグテック活用などによる中小企業の販路拡大、その他中小企業に役立つ情報交換などの分野に係る連携

【活動報告】

◎カーボンニュートラルを中心に、環境問題を解決し得る技術の開発等に取り組む大企業へのヒアリング調査を行った。

ヒアリング企業数：5社

調査実施期間：令和3年6月1日～8月31日

(3) 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）（協定締結年月：令和元年8月7日）

【連携協定の狙い】

地域の中堅・中小企業等の製品開発力強化や市場拡大、新規創業環境整備等によるイノベーション創出

【活動報告】

◎技術連携交流会 @KISTECの共催

- ・開催日：令和4年1月20日 13:00～17:00
- ・開催方法：オンライン開催
- ・参加企業数：16社
- ・面談数：12件



情報ネットワーク事業

I 会報「つなぐWa」

会員の取り組みや協会事業の紹介、関東経済産業局からの情報提供など、会員間の情報共有とお役立ち情報をまとめた会報です。

発行した会報はこちらから閲覧可能です。(<https://www.tamaweb.or.jp/about/tunaguwa>)

発行時期：原則偶数月 配布対象：会員



II ホームページによる情報提供

協会会員の企業・大学・支援機関のホームページを横断的に検索可能なカスタム検索エンジン、協会が発行する冊子の電子ブック版などを掲載しています。

トップページ
(<https://www.tamaweb.or.jp>)



協会の支援メニューや実施事業、イベント等の他、会員紹介動画、イベントお見逃し動画配信、等を掲載しています。

製品・技術PRレポートページ
(<https://www.tamaweb.or.jp/report-2>)



電子ブック・資料

事業のあらまし、企業のコア製品・技術がひとめでわかる「製品・技術PRレポート」、大学のシーズや企業との連携希望内容をまとめた「大学技術工房」などを閲覧できます。

III 情報別メーリングリストの運用による効果的な情報提供

協会支援メニューや主催事業だけでなく、国・都県や支援機関等の補助金情報や支援施策・セミナー情報、官公庁などが発表する統計情報やニュース、また会員からの情報をタイムリーに発信しています。

※情報発信をご希望の場合は、事務局 (info@tamaweb.or.jp) へご連絡ください。

TAMAコーディネーター制度

当協会では、中小企業診断士、技術士、弁理士、公認会計士、税理士、社会保険労務士ほか、大手企業OBなど多様なスキルをもつ約130人の専門家を「TAMAコーディネーター」として登録しています。

TAMAコーディネーターは、企業の課題解決や競争力向上のため、様々な個別支援を行うほか、協会のスタッフとして、事業プログラムの企画や進行管理、協会主催のセミナー講師など、会員へのサービス提供のため、事務局とともに幅広く活躍しています。

令和3年度は、課題を持つ企業などがコーディネーターの皆様を探索し、ご相談しやすい仕組み作りを構築するために、Web公開希望をされたコーディネーターの方をホームページへ掲載しました。

活動分野・活動事業

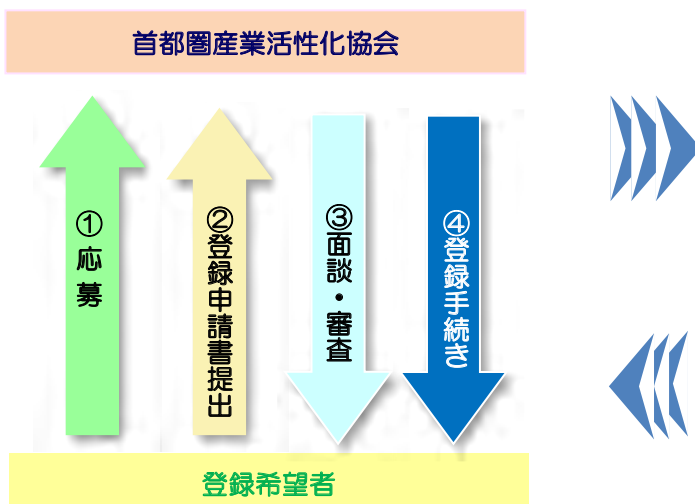


ご紹介PAGE

<活動例>

- IoT導入ハンズオン支援
- シニア人材個別マッチング
- 共同研究プロジェクト等のプロジェクトマネージメント・コーディネーター
- 協会主催セミナー等の講師紹介
- 経営デザインシート作成支援
- 展示会マッチングサポート

TAMAコーディネーター登録の概略



コーディネーター保有資格

資格
中小企業診断士
技術士
弁理士
公認会計士・税理士
ITコーディネータ
社労士、経営士、その他

地域連携推進

I 自治体地域産業政策勉強会

自治体が産業振興・企業支援を行うにあたり、地域中小企業の実態と行政や地域に求めるニーズを把握するため、施策や事例を学び、自治体間のネットワークを構築・強化する目的で自治体産業振興担当者を対象に自治体地域産業政策勉強会を開催しました。昨年度に引き続き、関東経済産業局、特別区長会との共催として、特別区（東京23区）の実務担当者を対象とした「産業振興セミナー」と合同開催し、より広域的な自治体間の交流やネットワークの形成に資する会として実施しました。

開催回	開催日	会場	参加自治体数
	内容		
第8回	令和3年7月13日（火）	オンライン開催（Zoom）	27
	第8回自治体地域産業政策勉強会・令和3年度第1回産業振興セミナー 共催：関東経済産業局・特別区長会 テーマ：「～ウィズコロナ・アフターコロナにおける自治体政策のあり方～」 ・今後の経済産業政策の方針及び事業再構築補助金の一次公募結果等 関東経済産業局 地域経済部 地域振興課 係長 近藤 裕貴 氏 ・尾道市の政策事例紹介「DX・デジタル化の政策推進」 尾道市 参事（スマートシティ推進担当） 戸成 宏三 氏 ・グループワーク／意見交換・発表		

II 自治体等との連携

首都圏西部地域をはじめ、全国の地域・団体、また海外クラスター団体等との連携事業や各種委員への就任・視察や講演依頼をお受けしています。今後も、国内外における産業支援機関との交流を図り、地域を超えた産業支援ネットワーク形成を目指していきます。

<地域内事業>

地域	事業名	事業内容
八王子市①	新分野展開促進業務	感染症等により顕在化した地域課題の解決に向け、中小事業者が先端分野のテクノロジー等を活用し、革新的な解決方法を導きだせる機会を創出し、もって中小事業者の強靱化を図ることを目的として、社会課題・地域課題の抽出・理解促進に向けたワークショップおよび分科会を実施しました。
八王子市②	都立多摩産業交流センターを活用したものづくり系イベント検討業務	本市の特色であるものづくり産業を幅広くPRするとともに本市からイノベーションの創出を図るため、多摩産業交流センターの活用につながる「ものづくり系イベント」について調査・検討・企画を実施しました。
羽村市	羽村市連携構築・強化支援事業	羽村市内外の企業交流を図るために、技術にプライドを持つ企業家・大学教員がプレゼンを行い、プレゼンを聞いた意欲的企業家達とのマッチングを目指した異業種交流会「はむらイブニングサロン」を6回実施しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済の変革の中での事業継続を支援するため、「Jacky柴田のマーケティング道場」を実施しました。
狭山市	狭山市中小企業経営支援相談業務	インキュベーション施設入居企業をはじめ、市内企業の産学連携、特許情報の活用に関する情報提供、効果的なアドバイスを実施するため、専門家を派遣しました。

Ⅲ 金融機関勉強会

金融機関が地域企業の支援を行うにあたり、社会経済・技術革新の動向やベンチャー企業の活躍状況等を理解し、地域中小企業の実態とニーズの把握が一層重要となります。また、当協会は、埼玉県南西部・東京都多摩地域・神奈川県県央部において、産学官金連携にわたり地域ものづくり中小企業を支援してまいりました。そこで、今後の地域中小企業支援を強化、地域金融機関との連携強化を図るべく金融機関勉強会を開催しました。

開催回	開催日	会場	参加金融機関数、人数
	内容		
第3回	令和3年11月15日（月）	八王子市産業開発・交流センター	11機関、15名
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加メンバー自己紹介 ・「日本発！株式投資型クラウドファンディングで世界に誇れるベンチャーの輩出を！」 講師：株式会社日本クラウドキャピタル 営業部 副部長 落合 文也 氏 ・「地域金融の未来～金融面から社会的課題を解決する人材の育成～」 講師：一般社団法人日本金融人材育成協会 会長 森 俊彦 氏 		
第4回	令和4年2月16日（水）	Zoom会議システム	9機関、12名
	<ul style="list-style-type: none"> ・参加メンバー紹介 ・「金融機関の皆様へのメッセージ～アフターコロナのビジョンと戦略を共有して地域を元気に」 講師：一般社団法人首都圏産業活性化協会 会長 野長瀬 裕二 ・「TAMAエリアにおける産学官金の連携によるスタートアップ支援への期待」 講師：NV Ventures株式会社 代表取締役社長 前田 信敏 氏 		

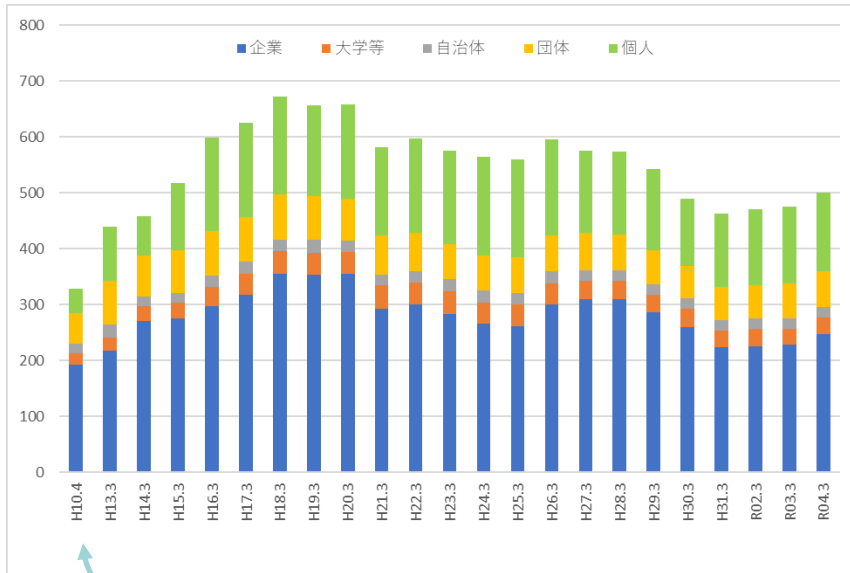
Ⅳ 国内支援機関等との交流

地域 ・ 団体	交流内容
一般社団法人日本自動車部品工業会	特別会員として参画
八王子商工会議所	一般会員として参画
一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）	賛助会員として参画
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム	三号会員（民間企業等）として参画
一般財団法人製造科学技術センター（IAF）	情報会員としての参画
東京都	多摩イノベーションエコシステム 実行委員
神奈川県	さがみロボット産業特区 重点支援プロジェクト支援委員会委員
所沢市	都市型産業等育成補助金審査員
羽村市	羽村市産業振興計画懇談会委員
東京農工大学	先端産学連携研究推進センターアドバイザーボード委員
芝浦工業大学	COC事業外部評価委員会
狭山商工会議所IMT会議	狭山市中小企業経営支援相談員
公益社団法人八王子観光コンベンション協会	MICE委員会委員
Forbes JAPAN	SMALL GIANTS AWARD アドバイザリーボード
首都圏南西地域産業活性化フォーラム	首都圏南西地域産業活性化フォーラム運営委員会委員・ 企画部会委員
全国イノベーション推進機関ネットワーク	全国イノベーション推進機関ネットワーク運営委員
青梅線沿線地域産業クラスター協議会	青梅線沿線地域産業クラスター協議会オブザーバー

データで見る会員の推移と現状

今年度は、総体として昨年度末より会員数は増加しました。企業会員数は昨年度の228社から社234社へ増加しています。今後も会員様への支援を尽力して参ります。引き続き、地域活性化、発展のため、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

1. 会員数の推移（平成10年度～令和3年度）

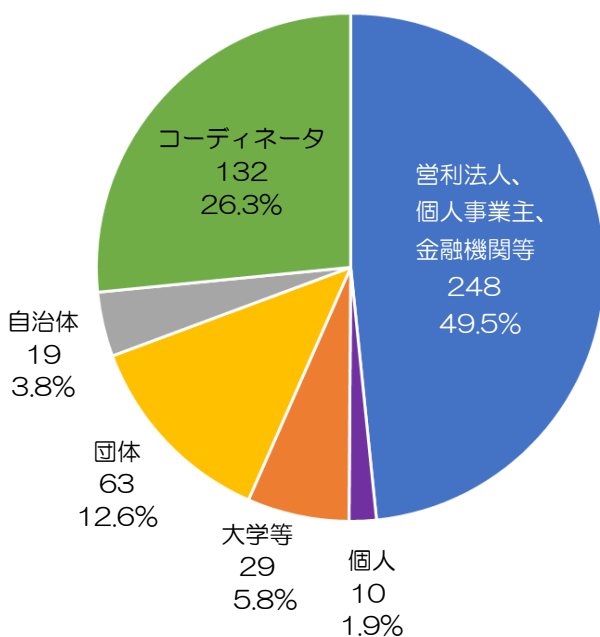


TAMA産業活性化協議会設立

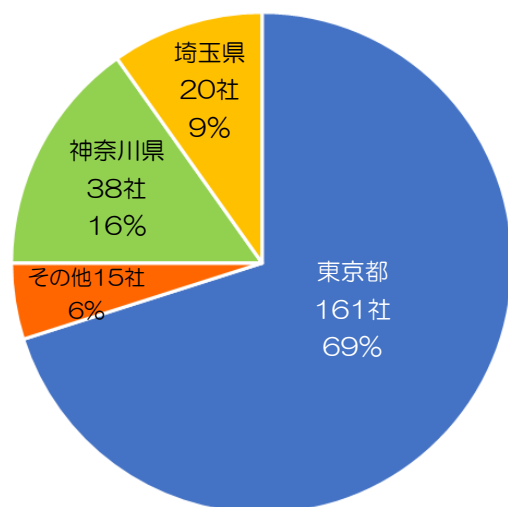
年度	会員数
平成10年4月	328
平成13年3月	440
平成14年3月	447
平成15年3月	517
平成16年3月	599
平成17年3月	629
平成18年3月	672
平成19年3月	656
平成20年3月	658
平成21年3月	578
平成22年3月	597
平成23年3月	576
平成24年3月	565
平成25年3月	560
平成26年3月	595
平成27年3月	576
平成28年3月	574
平成29年3月	543
平成30年3月	490
平成31年3月	463
令和2年3月	470
令和3年3月	476
令和4年3月	501

平成10年4月のTAMA産業活性化協議会設立時総会員数328（うち企業会員193社）でスタートし令和3年度末には総会員数501（うち企業会員234社）となっています。

2. 会員の構成（令和3年度末）

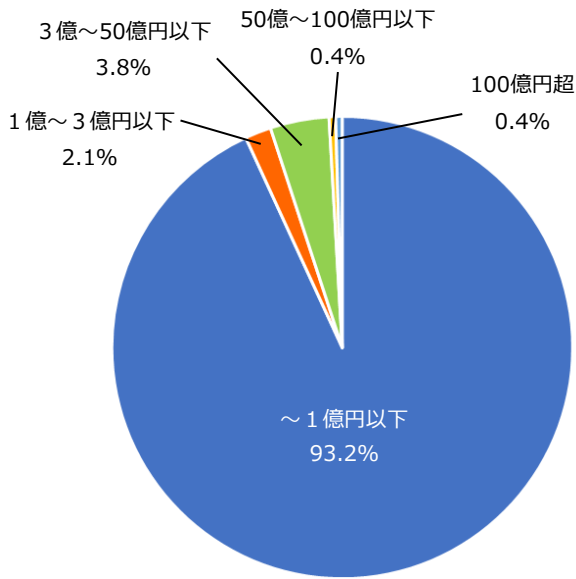


3. 都道府県別企業会員数



令和4年3月末現在（総数=501）

4. 資本金別企業会員分類

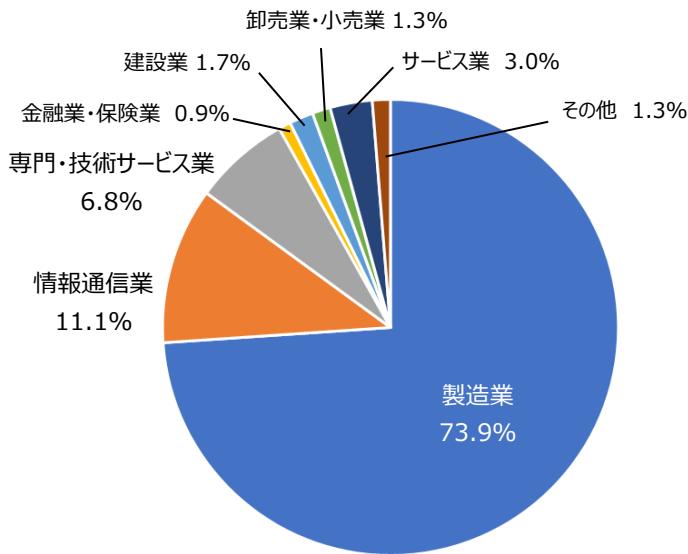


5. 市区町村別企業会員数 (トップテン)

No.	市区町村別	会員数
1	八王子市	21
2	相模原市	21
3	青梅市	16
4	羽村市	13
5	千代田区	11
6	昭島市	9
7	西多摩郡瑞穂町	9
8	横浜市	9
9	立川市	8
10	港区	7

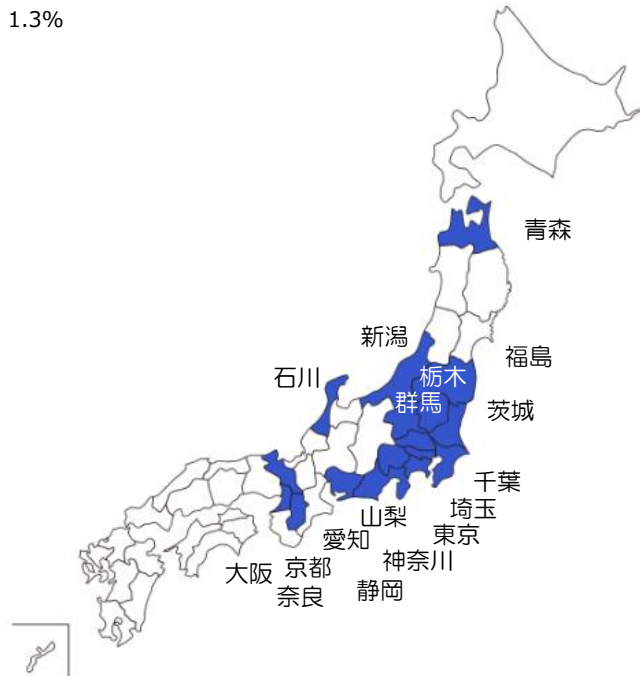
※上位10市区町村での企業会員合計124
(企業会員全体の5.4%)

6. 業種別企業会員分類



※日本標準産業分類にもとづく
(令和3年度末 企業会員総数=234)

企業会員所在分布図
(都道府県別)



企業会員を見ると、資本金3億円未満の中小企業が全体の約95%を占めています。
業種は製造業が全体の73.9%を占め、情報通信業(IT関連)が11.1%、次いで専門技術サービス業が6.8%、サービス業が3%となっています。
今後も、更なる充実したネットワーク構築を目指します。

◎ 年 表 ◎

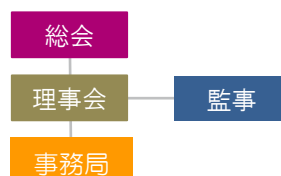
	全体事業	イノベーション創出	企業支援・政策推進	人材育成	ネットワーク強化
4月			7、9 事業再構築補助金説明会・個別相談会	5-7 合同新人研修	会報「つなぐWa」第21号発行 13 はむらイブニングサロン ²³ 23 つなぐWaセッションオンラインミーティング ¹⁸
5月	28 第1回理事会				21 つなぐWaセッションオンラインミーティング ¹⁹
6月	25 通常総会	11 「多摩ものづくりコミュニティ組成支援事業」説明会	17 事業再構築補助金説明会・個別相談会（飯能信用金庫共催）	28 面接官トレーニング研修	会報「つなぐWa」第22号発行
7月		「多摩ものづくりコミュニティ組成支援事業」個別企業支援	9 知財事業「第1回連携協議会」 28 知財事業「掘り起こしセッション」基礎講座 ^①	30 次世代トップリーダー講座	8 はむらイブニングサロン ²⁴ 13 自治体勉強会 16 つなぐWaセッションオンラインミーティング ²⁰
8月	12 IoT委員会 ^①		6 知財事業「掘り起こしセッション」基礎講座 ^② 18 知財事業「掘り起こしセッション」基礎講座 ^③		会報「つなぐWa」第23号発行 27 つなぐWaセッションオンラインミーティング ²¹
9月	10 北関東産官学研究会調印式 22 IoT委員会 ^②	「多摩ものづくりコミュニティ組成支援事業」個別企業支援	7 知財事業「掘り起こしセッション」集合研修 ^① （八王子） 8 知財事業「第2回連携協議会」 16 IT経営セミナー	6 若手人材の採用方法セミナー	9 はむらイブニングサロン ²⁵ 17 ネットワーク委員会
10月	1 第2回理事会 22 ネットワーク委員会 22 IoT委員会 ^③		5 知財事業「掘り起こしセッション」集合研修 ^② （相模原） 8 知財事業「第2回連携協議会」 20 知財戦略・予防法務セミナー ^①	25 内定者フォロー研修 29 次世代トップリーダー育成講座	会報「つなぐWa」第24号発行 22 つなぐWaセッションオンラインミーティング ²² 27 青梅線沿線地域産業クラスター協議会
11月		17 技術連携交流会（八王子）	5 知財事業「掘り起こしセッション」集合研修 ^③ （所沢市） 9 八王子市先端技術セミナー 10 知財戦略・予防法務セミナー ^② 16 標準化戦略講座 24 知財戦略・予防法務セミナー ^③	9 新人研修・フォローアップ研修 12、16 内定者フォロー研修 22 次世代トップリーダー育成講座	5 新都心イブニングサロン 11 はむらイブニングサロン ²⁶ 15 金融機関勉強会 ^③ 26 つなぐWaセッションオンラインミーティング ²³
12月		1-3 スマートファクトリーJapan（出展） 8-10 新ものづくり・新サービス展（出展）	7 知財事業「掘り起こしセッション」集合研修 ^④ （日野市） 8-10 新ものづくり・新サービス展	9 内定者フォロー研修 11 次世代トップリーダー育成講座	会報「つなぐWa」第25号発行 14 つなぐWaセッションオンラインミーティング ²⁴ 24 ダイバーシティシンポジウム
1月	28 第3回理事会・賀詞交歓会 31 技術経営大学 新春セミナー	20.27 技術連携交流会	18 羽村市マーケティング講座 ^①	12 内定者フォロー研修	21 つなぐWaセッションオンラインミーティング ²⁵
2月		8 技術連携交流会（KISTEC&KIP共催）	8 羽村市マーケティング講座 ^②	10 内定者フォロー研修	会報「つなぐWa」第26号発行 4 新都心イブニングサロン 9 つなぐWaセッションオンラインミーティング ²⁶ 16 金融機関勉強会 ^④ 21 はむらイブニングサロン ²⁷ 21 さがみロボット特区重点PJT委員会 25 つなぐWaセッションオンラインミーティング ²⁷
3月	18 第4回理事会	16 綿貫WG研究会	10 羽村市マーケティング講座 ^③ 11 知財事業「第3回連携協議会」 11 知財事業「成果発表会」 15 海外展開スタートセミナー 28 Go-Tech事業説明会 29 インボイス制度および改正電子帳簿保存法に関する説明会	9 内定者フォロー研修 17 中堅社員研修	3 八王子観光コンベンション協会委員会 16 はむらイブニングサロン ²⁸ 25 つなぐWaセッションオンラインミーティング ²⁸

■ 役員 ※令和3年3月末現在

会長	特定非営利活動法人新都心イノベーションパートナーズ 代表理事、摂南大学経済学部 教授			野長瀬 裕二
副会長	株式会社リガルジョイント 代表取締役	稲場 純	株式会社industria 代表取締役社長	高橋 一彰
理事	株式会社ソーケンメディカル 代表取締役社長	石渡 弘美	株式会社イチカワ 専務取締役	市川 敦士
理事	株式会社イノウエ 代表取締役社長	井上 毅	電気通信大学 理事（研究・産学官連携戦略担当）	小花 貞夫
理事	アイフォーコム株式会社 代表取締役社長	加川 広志	八王子商工会議所 会頭	櫻崎 博
理事	久保井塗装株式会社 代表取締役	窪井 要	第一合成株式会社 代表取締役	河野 良子
理事	DATAビジネス株式会社 会長	昆 凡子	相模原商工会議所 会頭	杉岡 芳樹
理事	八王子市産業振興部長	瀬尾 和子	羽村市長	橋本 弘山
理事	株式会社ミラック光学 代表取締役	村松 洋明	相模原市 環境経済局 経済部 部長	若林 和彦
監事	株式会社バンガードシステムズ 代表取締役	池野 成雄	株式会社コスモ計器 代表取締役	古瀬 智之
参与	株式会社井口一世 代表取締役	井口 一世	武州工業株式会社 代表取締役会長	林 英夫

■ 組織 ※令和4年3月末現在

- 理事：17人（会長1人・副会長2人）
- 監事：2人 ■ 参与：2人



■ 形態区分と入会金・年会費

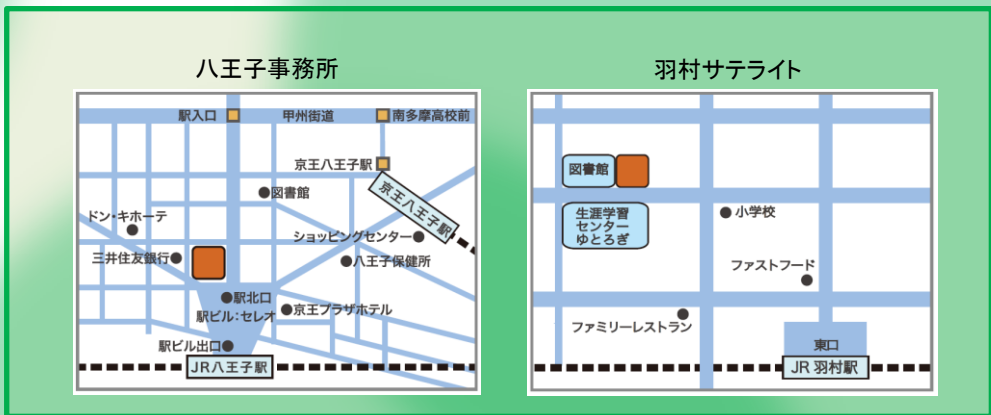
会員種別	区分	資本金等	入会金	会費	
正会員	営利法人等	100億円超	210,000 円	490,000 円	
		50億円超100億円以下	150,000 円	350,000 円	
		3億円超50億円以下	60,000 円	140,000 円	
		1億円超3億円以下	45,000 円	105,000 円	
		1億円以下	30,000 円	70,000 円	
	個人事業主等	起業準備中の個人・創業5年以内の営利法人	15,000 円	35,000 円	
	教育機関	教育機関・在日公館・通商機関	10,000 円	10,000 円	
	個人	大学教官・学生・官公庁職員、コーディネータ	10,000 円	10,000 円	
	商工団体	—	10,000 円	10,000 円	
	金融機関	—	60,000 円	140,000 円	
賛助会員	営利法人等	公益法人等	10,000 円	10,000 円	
		中小団体	10,000 円	20,000 円	
		地方公共団体	製造品出荷額等5,000億円以上	15,000 円	30,000 円
		製造品出荷額等5,000億円未満	10,000 円	10,000 円	
賛助会員	営利法人等	東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、静岡県に拠点を持たない営利法人	—	35,000 円	
		中小企業以外 ※中小企業基本法第二条の範囲外 ※その他大企業相当の企業も含む	—	100,000 円	

■ ご入会お申込みは ホームページから可能です。

<https://www.tamaweb.or.jp/>

協会ホームページで「協会概要」中の入会のご案内をクリックしてください！





一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)
Technology Advanced Metropolitan Area
<https://www.tamaweb.or.jp>

八王子事務所 〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル11F
 TEL : 042-631-1140 FAX : 042-631-1124

羽村サテライト 〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2丁目11-1 羽村市産業福祉センター内
 TEL : 042-570-3481 FAX:042-570-3482